

第二期平戸市保健事業実施計画

(データヘルス計画)

中間評価・見直し

令和3年3月

目 次

はじめに

第1章 第二期平戸市保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価

1 中・長期的な目標	1
（1）中・長期目標の評価	1
（2）医療費評価	2
①国民健康保険医療費状況	3
2 短期的な目標	7
（1）短期目標の評価	7
3 保健事業の評価	11
（1）特定健診受診率向上の評価	11
（2）特定保健指導実施率・改善率評価	14
（3）重症化予防事業評価	17
・糖尿病性腎臓病（腎症）重症化予防事業	20

第2章 医療費適正化事業

1 重複・多剤投与者に対する取り組み	21
2 ジェネリック医薬品（後発医薬品）使用促進の取り組み	22

第3章 平戸市の健康課題

1 死亡状況	23
2 介護保険の状況	24
3 人工透析の状況	26

第4章 これからの保健事業

1 再整理後の健康課題	28
2 目標の設定	29
3 具体的な取り組み方針	31
4 数値目標	32

< 資 料 >

はじめに

データヘルス計画は、特定健診データや診療情報明細書（レセプト）及び国保データベース（KDB）システム等の分析結果に基づき、PDCAサイクル（Plan：計画 Do：実行 Check：評価 Action：改善）に沿った効果的かつ効率的に保健事業を推進するための事業計画です。

生活習慣病の発症や重症化予防を図ることにより、「健康寿命の延伸」「医療費・介護費の伸びの抑制を図る」ことを目的としています。

本市では、「第二期データヘルス計画」を「第三期特定健診等実施計画」と合わせて、平成29年度に平成30年度から令和5年度までの6年間計画を作成しました。

令和2年度は計画3年目の中間にあたる年であり、立案した本計画が効果的・効率的に実施できているのかを確認し、計画が滞っている場合は、事業効果を高めるための改善策等を検討し、目標達成に向けての方向性を見出すために中間評価を行いました。

中間評価は、データヘルス計画全体としての評価を行うため、データヘルス計画を構成する中長期目標、短期目標及び保健事業計画に基づいて実施された事業の実績等を振り返り、計画の目的・目標の達成状況・指標の在り方について、データ分析等をもとに整理、評価を行いました。

評価については「目標達成」「改善」「変化なし」「悪化」の四段階で判定しました。評価の結果、被保険者の健康課題について明確化し、明確化した課題の解決に向けて、広角的な取り組みを推進するため、取り組み内容、目標値の設定方法など事業を整理しました。

今後は、中間見直しの評価を元に次年度以降も、PDCAサイクルを効果的に回していき、各保健事業のレベルアップを図り、本計画を展開させていきます。

<第二期データヘルス計画の中間評価見直しのスケジュール>

平成 20年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元年	2	3	4	5
西暦 2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
第一期 特定健康診査等実施計画				第二期 特定健康診査等実施計画						第三期 特定健康診査等実施計画 第二期 データヘルス計画					
								第一期 データヘルス計画							
											中間評価 見直し	第三期 特定健康診査等実施計画 第二期 データヘルス計画			

第1章 第二期平戸市保健事業実施計画(データヘルス計画)中間評価

以下「第二期データヘルス計画」という。

第二期データヘルス計画では、以下のように目標を立てました。

1. 中・長期的な目標（第二期データヘルス計画から抜粋）

脳血管疾患、虚血性心疾患の死因割合は同規模市、長崎県、全国と比較して高い状況です。また、これまでの健診・医療情報を分析した結果、医療費が高額となる疾患、6ヶ月以上の長期入院となる疾患、人工透析となる疾患及び介護認定者の有病状況の多い疾患となっている脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による新規透析患者数を減少させることを中・長期目標に設定します。

目標値として脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率を県並みとすること、新規透析患者数は現状より減少の10名以下とすることを目指します。

また、3年後の平成32年度に進捗管理のための中間評価を行い、必要時計画及び評価の見直しをします。

今後、高齢化が進行すること、また年齢が高くなるほど脳、心臓、腎臓の3つの臓器の血管も傷んでくることを考えると、医療費そのものを抑えることは難しいことから、医療費の伸びを抑えることを目標とします。

そのためには、重症化予防事業や医療費の適正化へつなげることで、入院外を伸ばし入院を抑えることを目標とし、入院患者の割合を県並みの3%台にします。

(1) 中長期目標の評価

中長期目標については、計画の最終年度で評価することとしており、結果がでるのも5年から10年かかるといわれていますが、現時点でみると、脳血管疾患死亡率は減少し、虚血性心疾患死亡率は増加していました。

【中長期目標評価】

	平成28年度	令和元年度	評価	目標値
脳血管疾患死亡率	19.8%	19.3%	改善	15.0%
虚血性心疾患死亡率	30.1%	31.7%	悪化	27.3%
新規透析患者数	14人	15人	悪化	10人

① 新規脳血管疾患患者数・虚血性心疾患患者数・透析患者数

新規脳血管疾患患者数、虚血性心疾患患者数、割合ともに減少していますが、新規透析患者数は減少傾向がみられず、割合は増加しています。

表1 新規脳血管疾患患者数・虚血性心疾患患者数・透析患者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規脳血管疾患患者数 (被保険者千対)	192 (17.6)	164 (15.9)	171 (17.6)	156 (16.6)	133 (14.8)
新規虚血性心疾患患者数 (被保険者千対)	248 (22.8)	167 (16.2)	166 (17.0)	132 (14.2)	120 (13.3)
新規透析患者数 (被保険者千対)	8 (0.7)	3 (0.3)	6 (0.6)	5 (0.5)	8 (0.9)

資料：KDBシステム

<今後の方向性>

中長期目標値として、「脳血管疾患の死亡率の減少」および「虚血性心疾患の死亡率の減少」を挙げていましたが、死因については、複数の疾病を併せ持っている場合、どの疾患を死因とするのか不透明な部分や、救急医療等の影響を受けるなど評価基準にするには複雑な要因があるため、目標値を「新規脳血管疾患を発症する人の減少」「新規虚血性心疾患を発症する人の減少」とする方が、評価基準に適していると考え評価基準を変更します。また、国民健康保険被保険者数が減少している現状から、人数の変化だけではなく、率もあわせて評価します。

同様に、「新規透析患者数の減少」については、平戸市民を対象に考えていましたが、保健事業対象者が国民健康保険被保険者であることから、評価基準を「新規透析患者の中でも国民健康保険被対象者」に変更します。

(2) 医療費の評価

医療費については、入院・外来ともに総費用額は減少し、1人あたりの費用額は増加しています。ただし、医療費の伸び率でみると、平戸市の入院の1人あたりの伸び率は、1.09%であり、長崎県平均の1.12%より低く抑えられています。同様に、外来の1人あたりの伸び率は1.072%であり、長崎県平均の1.074%より低く抑えられているため、変化なしとします。

入院件数の割合は、目標を3%台としていましたが、令和元年度では入院件数がさらに増加していました。

【医療費の評価】

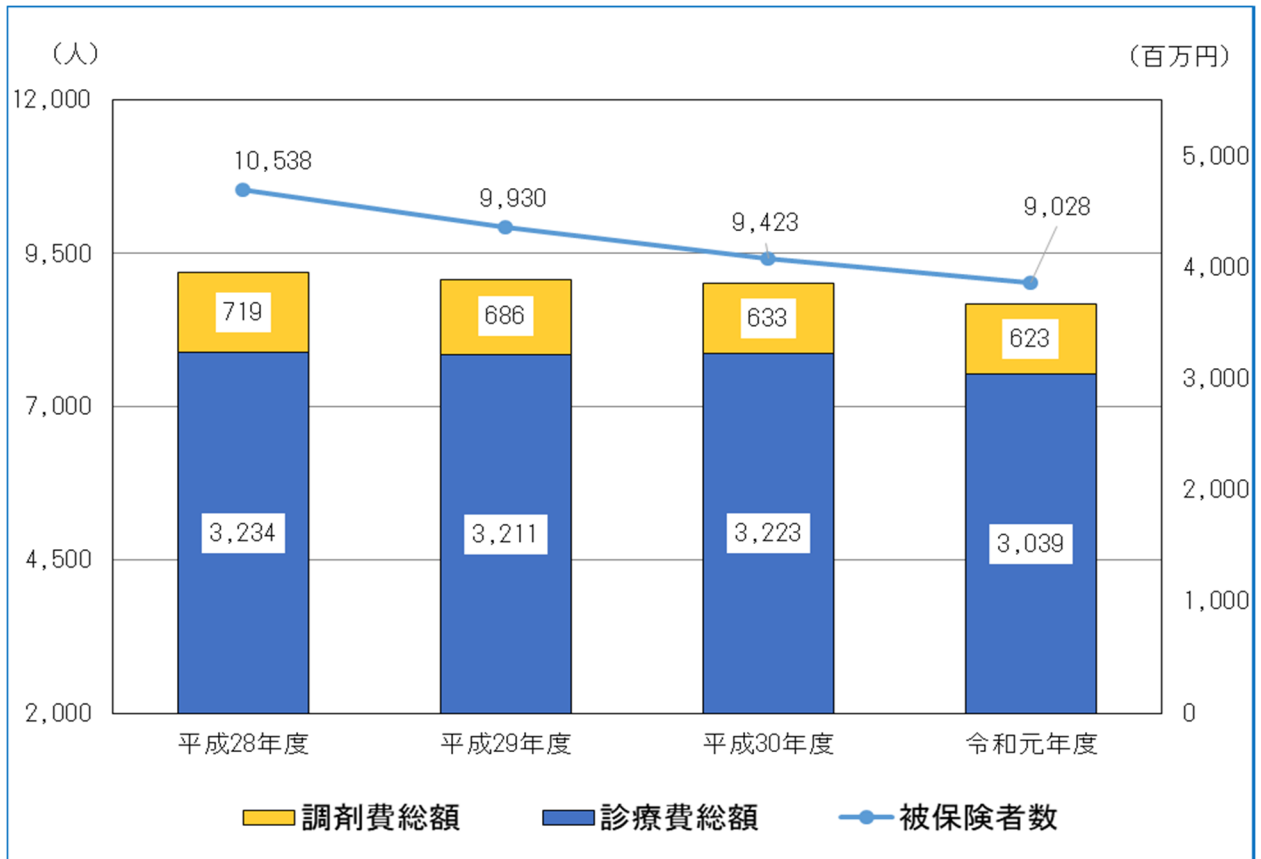
		平成28年度	令和元年度	伸び率 (H28/R1)	評価	目標
入院	総費用額	18億1558万9540円	17億644万8,440円	94.0%	改善	医療費の伸びを抑える
	1人あたり	14,284円	15,591円	109.2%	変化なし	
	件数割合	4.6%	4.9%	-	悪化	
外来	総費用額	18億6194万360円	17億1816万4,480円	92.3%	改善	医療費の伸びを抑える
	1人あたり	14,649円	15,698円	107.2%	変化なし	
	件数割合	95.4%	95.1%	-	悪化	

① 国民健康保険医療費状況

(i) 国民健康保険被保険者数・医療費推移

本市の国民健康保険被保険者数は年々減少しており、平成28年度と比較すると1,510人の減となっており、医療費合計で290,769,859円減少しています。

図1 国民健康保険被保険者数・医療費推移



資料：国保事業年報

表 2 被保険者数及び医療費合計

(単位：人、円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	R1 - H28
被保険者数	10,538	9,930	9,423	9,028	△ 1,510
医療費合計	3,953,027,671	3,897,264,665	3,855,952,403	3,662,257,812	△ 290,769,859
診療費総額	3,233,631,470	3,211,434,245	3,222,952,443	3,038,763,432	△ 194,868,038
調剤費総額	719,396,201	685,830,420	632,999,960	623,494,380	△ 95,901,821

※被保険者数は各年度平均値

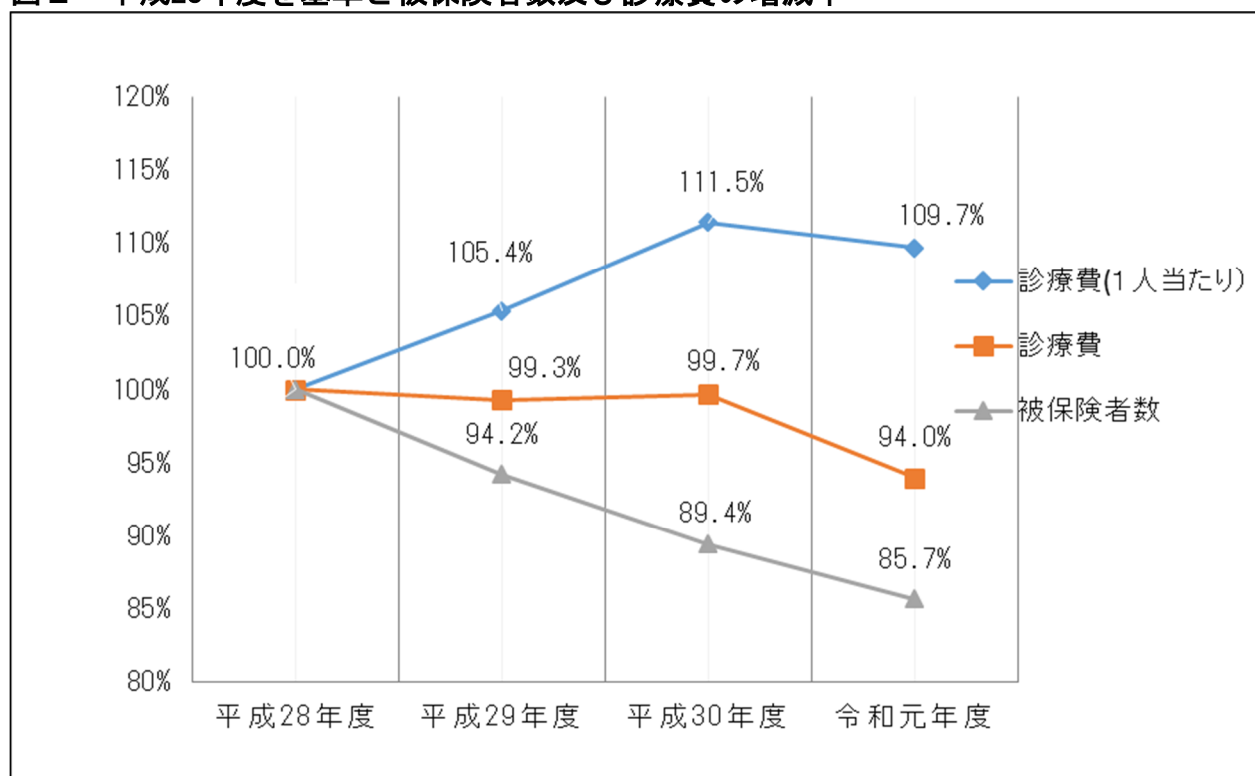
資料：国保事業年報

※医療費合計：診療費（入院・入院外・歯科分）及び調剤費の合計額

(ii) 平成28年度を基準とした被保険者数及び診療費の増減率

平成28年度を基準とした診療費の増減率は、令和元年度で被保険者数においては14.3%の減となっています。それに伴い診療費も、徐々に減少しており、6.0%の減となっています。1人当たりの診療費でみると平成30年度まで伸びていた診療費が、令和元年度で初めて低下したものの、最終的には9.7%の増となっています。

図 2 平成28年度を基準と被保険者数及び診療費の増減率



資料：国保事業年報

(iii) 国民健康保険年齢階層別 1人当たり費用額状況

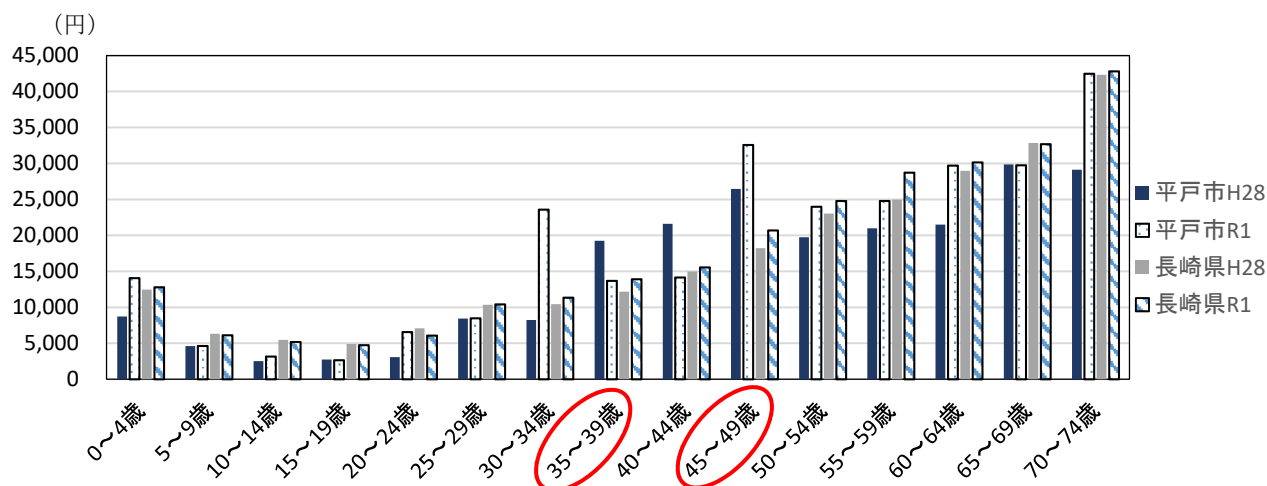
1人当たりの医療費増加の原因としては、医療の高度化等の要因も考えられますが、年

年齢が高いほど医療費が高い傾向にあるため、高齢者が多い本市においては1人当たりの医療費が高くなっていると考えられます。

しかしながら、若い世代、特に30歳から49歳については、県平均より医療費が高い状況にあり懸念しています。(図3)

そこで、令和元年度の5月診療分で、1件当たり100万円以上となるレセプトを確認すると、表3にみられるように、若い世代から、脳血管疾患や虚血性心疾患、がんが発症していることがわかります。若い世代が少ないため、高額医療費を使う人が1人でも出ると、1人当たりの医療費に強く影響が出ることになります。

図3 国民健康保険年齢階層別1人当たり費用額状況(5月診療分)



資料：長崎県国民健康保険疾病分類統計資料

表3 1件当たり100万円以上となる疾患状況(令和元年度：5月診療レセプト)

令和元年度		全体	脳血管疾患		虚血性心疾患		がん		その他		
100万円以上となる疾患レセプト	人数	210人	9人		9人		60人		140人		
			4.3%		4.3%		28.6%		66.7%		
	件数	309件		15件		11件		97件		186件	
				4.9%		3.6%		31.4%		60.2%	
		年代別	40歳未満	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	11	5.9%
			40代	1	6.7%	2	18.2%	2	2.1%	10	5.4%
			50代	1	6.7%	0	0.0%	6	6.2%	11	5.9%
60代	2		13.3%	4	36.4%	50	51.5%	76	40.9%		
	70~74歳	11	73.3%	5	45.5%	38	39.2%	78	41.9%		
費用額	4億8837万円		1859万円		2312万円		1億4601万円		3億0064万円		
			3.8%		4.7%		29.9%		61.6%		

*最大医療資源傷病名(主病)で計上

*疾患別(脳・心・がん・その他)の人数は同一人物でも主病が異なる場合があるため、合計人数とは一致しない。

※その他の疾患のおもなものは、筋骨格系、呼吸器系、循環器系疾患、腎不全など

資料：KDBシステム

<今後の方向性>

医療費の総費用額は減少傾向にあるものの、1人当たりの医療費は高い状況です。特に若い世代から脳血管疾患や虚血性心疾患、がんがみられ、これらの疾患は健（検）診で早期発見・介入が可能な疾患であり、予防が可能な疾患です。

今後も特定健診、がん検診の受診勧奨、受診しやすい体制づくりなど検討する必要性があります。

2. 短期的な目標（第二期データヘルス計画から抜粋）

脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の共通のリスクである「高血圧」、「脂質異常」、「高血糖」、「メタボリックシンドローム」（以下「メタボ」という）を減らしていくことを短期的な目標とします。

特に医療受診が必要な高血圧症Ⅱ度以上（160/100mmHg）の人、LDL-コレステロール（以下「LDL-C」とする。）180mg/dl以上の人、HbA1c6.5%以上の人、尿蛋白2+以上の人、e-GFRが50ml/分/1.73m²未満（70歳以上はe-GFR 40 ml/分/1.73m²未満）の人の未受診者割合を減らしていくことを目標とします。

また、治療の対象とはならない多くのメタボの人には、栄養指導等保健指導を実施します。そのためには、まずは健診受診してもらうことが必要です。特定健診受診率と特定保健指導実施率の向上、特に若い世代や新規受診者数を増やすことを推進します。

（1） 短期的目標の評価

短期的目標のメタボ該当者・予備群は増加傾向にあります。特定健診受診者に占めるⅡ度高血圧以上の割合は減少しましたが、脂質異常症・糖尿病有病者の割合は増加しました。

【短期的目標評価】

	基準年度	令和元年度	評価	目標値
メタボ該当者・予備群の減少	平成27年度	33.5%	悪化	29.3%
高血圧の改善 （Ⅱ度高血圧160/100mmHg以上の減少）		6.6%	改善	6.0%
脂質異常症の減少 （LDL-C180mg/dl以上の減少）	平成28年度	3.0%	悪化	3.0%
糖尿病有病者の増加の抑制 （HbA1c6.5%以上（治療中7%以上の減少）		5.8%	悪化	5.0%

① メタボ該当者・予備群状況

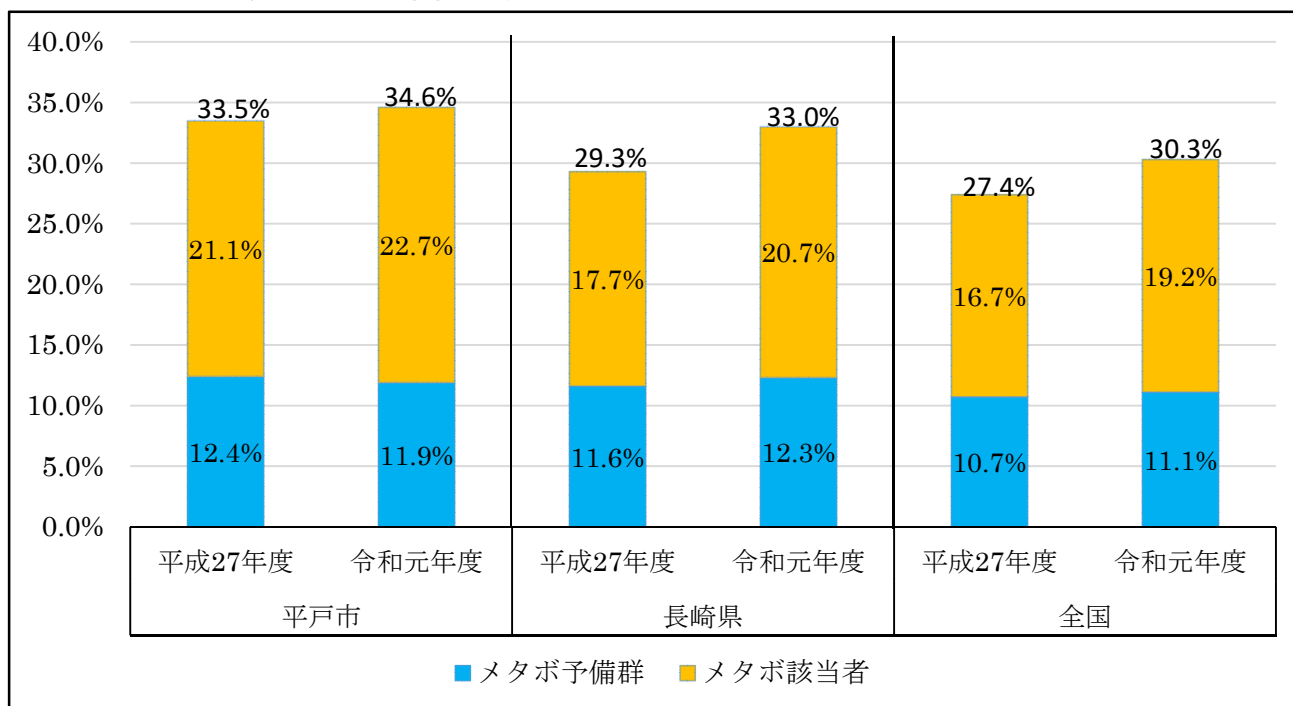
平戸市・長崎県・全国の平成27年度と令和元年度を比較すると、平戸市は、メタボ予備群が男女ともに減少しており、メタボ該当者及びメタボ予備群は、平成27年度の33.5%から令和元年度の34.6%と増加しています。（表4、図4）

表4 メタボ該当者・予備群比較（男女別）

年度	平戸市		長崎県		全国			
	平成27年度	県順位	令和元年度	県順位	平成27年度	令和元年度		
メタボ予備群の割合(男女計)	12.4	6位	11.9	17位	11.6	12.3	10.7	11.1
男性	19.7	4位	19.0	11位	17.9	18.9	17.1	17.7
女性	6.8	7位	6.1	19位	6.8	7.1	5.8	6.1
メタボ該当者の割合(男女計)	21.1	1位	22.7	2位	17.7	20.7	16.7	19.2
男性	32.2	1位	33.6	2位	27.1	31.4	26.6	30.7
女性	12.8	1位	13.8	4位	10.5	12.3	9.2	10.6
メタボ予備群・該当者(合計)	33.5		34.6		29.3	33.0	27.4	30.3

資料：KDBシステム

図4 メタボ該当者・予備群比較



資料：KDBシステム

② メタボ該当者・予備群の男女別出現状況

メタボ該当者・予備群になった人の平成25・27・令和元年度の特定健診結果で、令和元年度に最も高い数値を示した項目は、メタボ該当者＋予備群、該当者、高血糖、血糖＋脂質で男女ともに増加がみられました。メタボ該当者＋予備群は男性で52.7%、女性で19.9%であり、特に男性は若い年代（40～64歳）で半数近くの人がメタボ該当者・予

備群となっています。

また、男性では脂質を含むすべてが令和元年度に割合が高くなっています。女性では、血糖＋血圧が高くなっていましたが、男女ともに高血圧の項目は改善されています。

表5 メタボ該当者・予備群の男女別出現状況（平成25・27・令和元年度）

男性	健診受診者		該当者+予備軍		予備群		高血糖		高血圧		脂質異常症		該当者		血糖＋血圧		血糖＋脂質		血圧＋脂質		3項目全て	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
平成25年度	1,854	46.1	888	47.9%	341	18.4%	15	0.8%	257	13.9%	69	3.7%	547	29.5%	98	5.3%	19	1.0%	269	14.5%	161	8.7%
平成27年度	1,732	45.9	899	51.9%	342	19.7%	15	0.9%	266	15.4%	61	3.5%	557	32.2%	129	7.4%	17	1.0%	257	14.8%	154	8.9%
令和元年度	1,504	44.7	792	52.7%	286	19.0%	19	1.3%	207	13.8%	60	4.0%	506	33.6%	88	5.9%	22	1.5%	232	15.4%	164	10.9%
40-64	481	34.2	230	47.8%	86	17.9%	3	0.6%	46	9.6%	37	7.7%	144	29.9%	21	4.4%	12	2.5%	69	14.3%	42	8.7%
65-74	1,023	52.2	562	54.9%	200	19.6%	16	1.6%	161	15.7%	23	2.2%	362	35.4%	67	6.5%	10	1.0%	163	15.9%	122	11.9%

女性	健診受診者		該当者+予備軍		予備群		高血糖		高血圧		脂質異常症		該当者		血糖＋血圧		血糖＋脂質		血圧＋脂質		3項目全て	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
平成25年度	2,482	60.9	480	19.3%	186	7.5%	6	0.2%	152	6.1%	28	1.1%	294	11.8%	41	1.7%	16	0.6%	147	5.9%	90	3.6%
平成27年度	2,297	60.7	450	19.6%	157	6.8%	6	0.3%	118	5.1%	33	1.4%	293	12.8%	50	2.2%	19	0.8%	121	5.3%	103	4.5%
令和元年度	1,857	57.6	370	19.9%	113	6.1%	6	0.3%	84	4.5%	23	1.2%	257	13.8%	51	2.7%	9	0.5%	118	6.4%	79	4.3%
40-64	583	46.2	98	16.8%	37	6.3%	2	0.3%	24	4.1%	11	1.9%	61	10.5%	16	2.7%	6	1.0%	23	3.9%	16	2.7%
65-74	1,274	64.9	272	21.4%	76	6.0%	4	0.3%	60	4.7%	12	0.9%	196	15.4%	35	2.7%	3	0.2%	95	7.5%	63	4.9%

資料：KDBシステム

③ 特定健診有所見率の比較

特定健診結果で有所見率を比較すると、平成25・27・令和元年度のうち男女ともに令和元年度に最も高かったのが、腹囲、中性脂肪、空腹時血糖、LDL-Cでした。女性は、他にもBMI、GPT、尿酸も高くなっており、今後の動向に注意が必要です。(表6)

平戸市は令和元年度において、空腹時血糖・LDL-Cの有所見率が一番高いものの、長崎県や全国を下回っています。また、令和元年度に最も改善している項目が、HDL-C、収縮期・拡張期血圧です。拡張期血圧では平戸市が全国の有所見率を下回りました。

表6 特定健診有所見率の比較(平成25・27・令和元年度)

男性		BMI	腹囲	中性脂肪	GPT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン
		25以上	85以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.3以上
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
平成25年度	平戸市	39.2	51.8	26.5	21.8	12.8	20.9	45.1	13.3	59.7	27.8	36.3	2.6
平成27年度	平戸市	37.9	55.7	27.5	24.5	11.3	24.2	57.9	20.2	58.7	23.7	41.8	3.1
令和元年度	平戸市	38.6	56.1	28.2	23.7	10.4	24.4	55.3	17.5	55.3	18.4	42.8	2.9
	長崎県	33.8	55.0	26.5	21.5	7.8	34.2	54.4	15.8	52.2	22.1	45.6	2.5
	全国	32.8	53.4	28.1	21.0	7.6	30.6	57.7	12.7	48.9	24.9	48.3	2.2

女性		BMI	腹囲	中性脂肪	GPT	HDL-C	空腹時血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL-C	クレアチニン
		25以上	90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	85以上	120以上	1.2以上
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
平成25年度	平戸市	28.2	21.0	16.0	9.7	4.2	14.0	49.5	1.9	52.2	17.6	50.7	0.5
平成27年度	平戸市	27.0	21.8	18.1	10.2	3.7	16.3	62.6	2.4	48.8	14.7	53.3	0.8
令和元年度	平戸市	29.1	22.1	18.2	11.6	2.6	16.9	57.1	2.9	47.2	12.9	54.8	0.5
	長崎県	23.9	21.1	15.4	9.4	1.6	20.9	53.3	2.0	46.1	14.2	55.4	0.3
	全国	21.6	18.6	16.0	8.9	1.4	18.7	57.0	1.7	42.9	15.1	57.6	0.2

資料：KDBシステム

<今後の方向性>

特定健診を受診した人では、Ⅱ度以上の高血圧者の割合が減少してきていますが、脂質異常者や高血糖者の割合は上昇しています。これらの所見は、脳血管疾患や虚血性心疾患、糖尿病性腎症などの大部分を占める基礎疾患であるため、今後も生活習慣改善や適正な医療受診の指導を行う必要があります。

3. 保健事業の実績・評価

保健事業は、(1) 特定健診受診率向上 (2) 特定保健指導実施率・改善率 (3) 重症化予防事業を中心に取り組みました。

(1) 特定健診受診率向上の評価

特定健診受診率向上では、目標値を①特定健診受診率60%②40歳代対象者の受診率30%③新規受診者が全受診者の1割を目標としていましたが、いずれも目標には到達できませんでした。

【特定健診受診率向上評価】

	基準年度		令和元年度	評価	目標値
特定健診受診率	平成 28 年度	52.8%	53.5%	改善	60%
40歳代受診率	平成 27 年度	24.6%	28.6%	改善	30%
新規受診率	平成 28 年度	8.9%	7.2%	悪化	10%

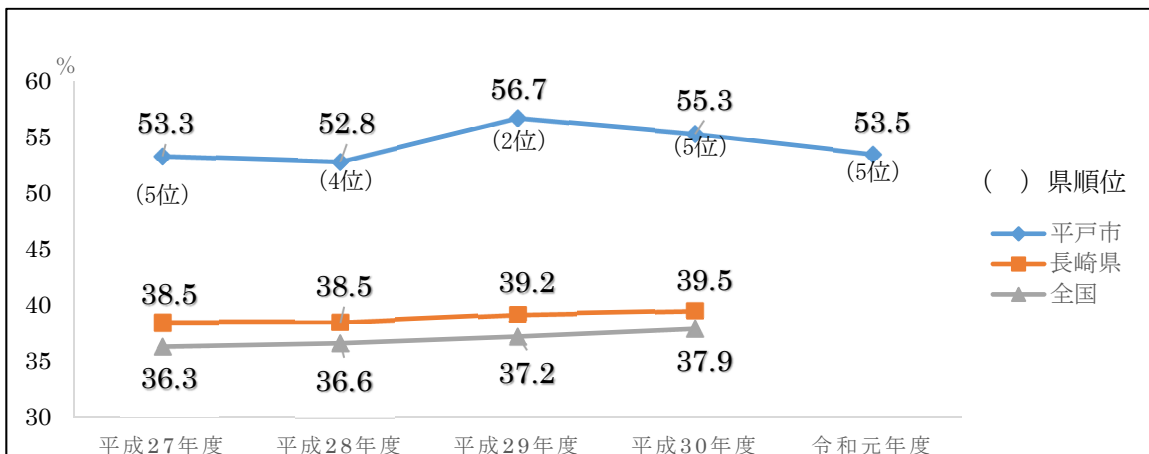
① 特定診受診状況

(i) 特定健診受診率推移

本市の受診率向上対策として、集団と個別健診の併用、特定健診とがん検診の同時実施、日曜日・夜間・早朝健診や人間ドック・脳ドックの実施、平戸市全地区に配置された健康づくり推進員による健診の周知や未受診者への受診勧奨、短期間雇用の訪問指導員による受診勧奨、未受診者への再通知・再々通知、治療中の方や事業所健診受診者の情報提供等実施しているため、本市の特定健診受診率は、長崎県・全国と比べて高い状況ですが、平成29年度をピークに徐々に低下しており、目標の60%には到達できませんでした。

(図5)

図5 特定健診受診率推移



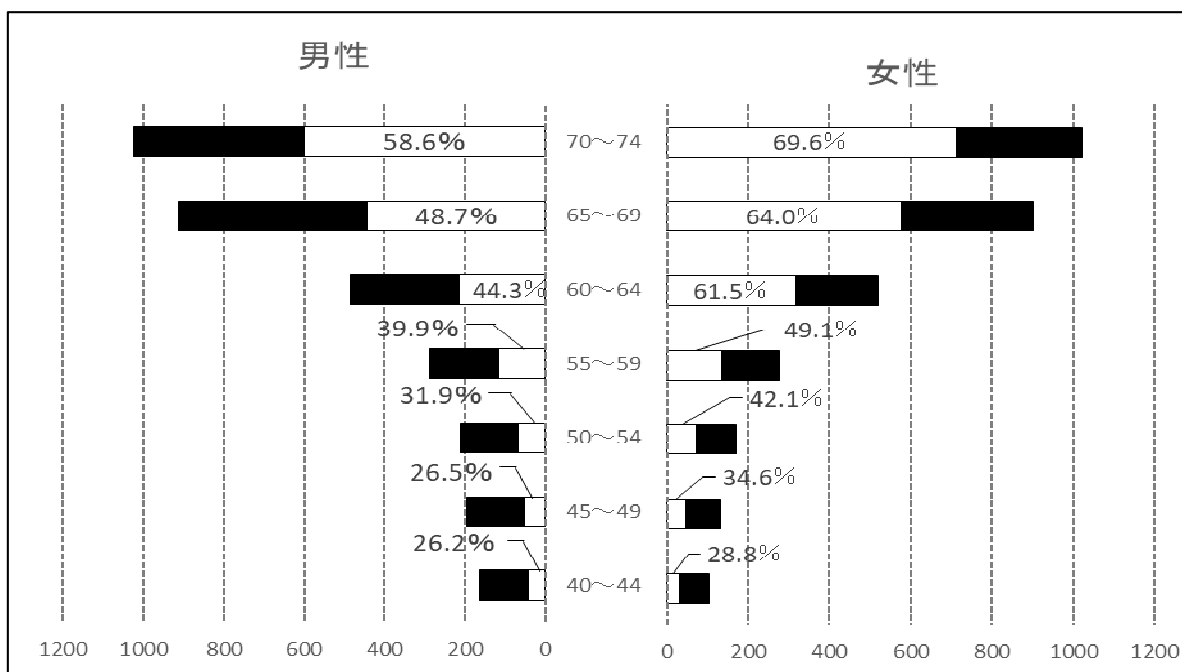
資料：法定報告

(ii) 特定健診年代別・男女別受診率

40歳代の受診率は、男女ともに平成27年度を上回り、女性は32.1%と30%の目標に達したものの、男性は26.4%で目標に達しませんでした。

若年者で受診率が伸びてきているのは、事業所での健診結果を提供していただくよう周知した結果であり、特に平成29年度は事業所健診の提供数が多く、50代の健診受診者は45.0%と長崎県下1位の受診率となりました。(図6、表7)

図6 特定健診年代別・男女別受診率（令和元年度）



資料：法定報告

表7 特定健診年代別・男女別受診率（平成27年度・令和元年度）

	年齢	男			女			計		
		対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)
H27	40～49	498	114	22.9%	374	115	30.7%	872	229	26.3%
	50～59	798	265	33.2%	651	297	45.6%	1,449	562	38.8%
	60～69	1,848	906	49.0%	1,848	1,159	62.7%	3,696	2,065	55.9%
	70～74	793	460	58.0%	1,029	726	70.6%	1,822	1,186	65.1%
R1	40～49	360	95	26.4%	237	76	32.1%	597	171	28.6%
	50～59	501	183	36.5%	448	208	46.4%	949	391	41.2%
	60～69	1,397	659	47.2%	1,422	897	63.1%	2,819	1,556	55.2%
	70～74	1,024	600	58.6%	1,023	712	69.6%	2,047	1,312	64.1%

資料：法定報告

(iii) 健診種別受診状況の推移

事業所健診の結果をみると、要医療域の重症者も多いことから、今後も積極的に事業所と連携を取りながら、早期に保健指導を実施し、重症化予防を図る必要があります。

表8 健診種別受診状況の推移

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
対象者(人)		7,572	7,205	6,889	6,597	6,412	
受診者(人)		4,039	3,807	3,909	3,650	3,430	
受診率(%)		53.3%	52.8%	56.7%	55.3%	53.5%	
受診者内訳	集団	集団健診(人)	2,296	2,041	1,721	1,487	1,446
		(割合 %)	56.9%	53.6%	44.0%	40.7%	42.2%
	個別	個別健診(人)	1,362	1,343	1,324	1,359	1,252
		脳ドック(人)	183	131	192	194	203
		人間ドック(人)	15	52	186	187	174
		計(人)	1,560	1,526	1,702	1,740	1,629
		(割合 %)	38.6%	40.1%	43.6%	47.7%	47.5%
	情報提供	事業所健診(人)	77	51	205	179	147
		医療情報提供(人)	106	189	281	244	208
		計(人)	183	240	486	423	355
(割合 %)		4.5%	6.3%	12.4%	11.6%	10.3%	

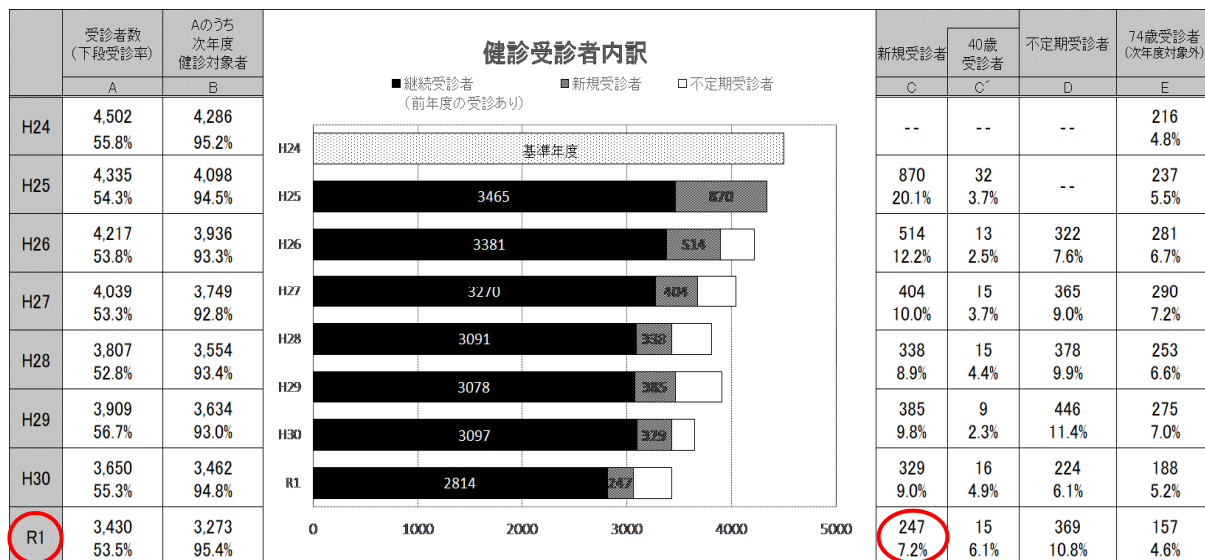
資料：法定報告

(iv) 健診受診者内訳

平成24年度から健診状況をみると、健診受診者数・受診率、新規受診者数・率ともに平成29年度を除き減少しています。新規受診者は、令和元年度で7.2%であり目標の1割に到達できませんでした。継続受診が8割を占めており、継続受診者を維持しながらも、新

規受診者を増やしていくことが課題です。(図7)

図7 健診受診者内訳



※継続受診者は前年度と比較して算出
 ※新規受診者は過去に1回も受診したことがない者
 ※不定期受診者とは、前年度受診していないものの、過去に受診したことがある者

資料：法定報告

<今後の方向性>

長崎県、全国と比較すると受診率は高い状況ですが、最近受診率が徐々に低下してきています。受診しやすい体制づくりを進めていき、若い世代からの健診受診を勧奨していきます。また、医療機関で受ける個別健診が増加していることから、医療機関や事業所と連携し、健診未受診者の情報提供依頼を実施します。他に、受診行動につながるようなわかりやすい通知を実施します。

(2) 特定保健指導実施率・改善率評価

特定保健指導実施率・改善率では、目標を①特定保健指導実施率60%②個別健診保健指導実施率60%③特定保健指導対象者減少率30%を目標としました。

【特定保健指導実施率・改善率評価】

	平成27年度	令和元年度	評価	目標値
特定保健指導実施率	58.7%	64.8%	目標達成	60%
個別健診保健指導実施率	40.1%	49.3%	改善	60%
特定保健指導対象者減少率	27.2%	23.5%	悪化	30%

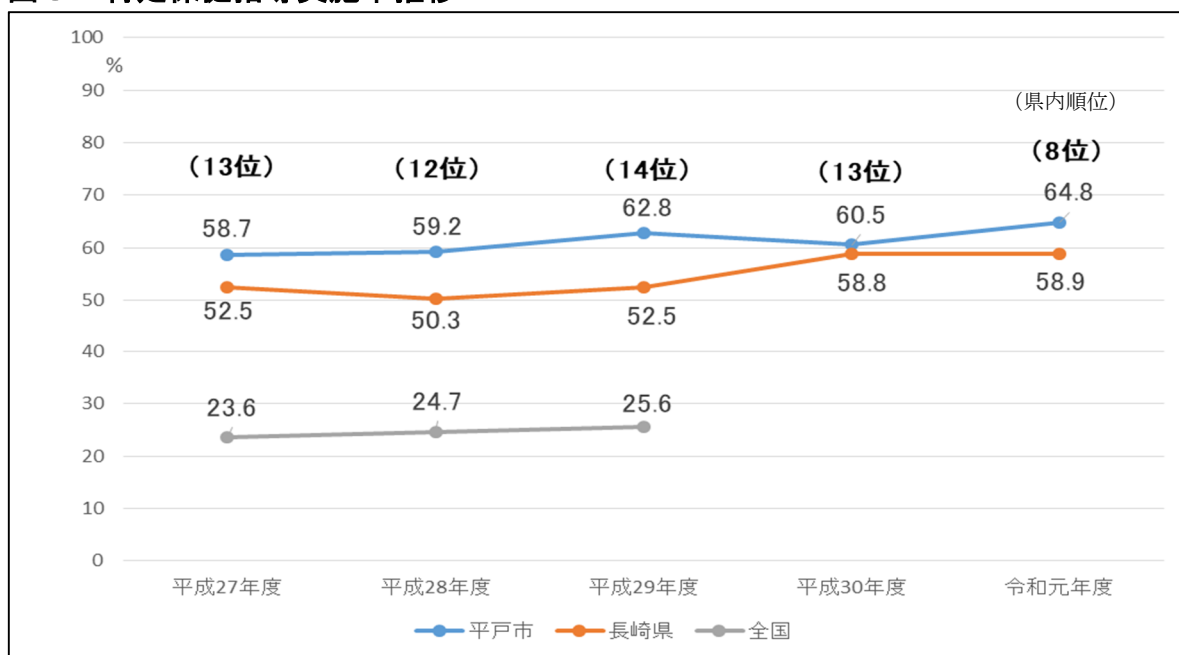
① 特定健診保健指導実施率

特定保健指導実施率は、令和元年度で動機づけ支援69.2%、積極的支援51.9%、計64.8%となり、目標の60%の実施率は達成できました。(図8、表9)

平成27年度では集団健診受診者で特定保健指導を受ける人が74.9%に対し、個別健診後の特定保健指導実施率が40.1%と低いことが課題でしたが、平成28年度から特定健診を実施している2医療機関に特定保健指導を委託(現在5医療機関)することによって、個別健診受診者の保健指導実施率も上がり、全体の実施率が増加しています。(表10)

また、集団健診対象者も分割実施導入や、人員体制増加により保健指導率が上昇しました。

図8 特定保健指導実施率推移



資料：法定報告

表9 支援レベル別特定保健指導実施率推移

年度	支援レベル	対象者(人) 【A】	初回面接 実施者(人) 【B】	初回面接 実施率(%) 【B/A】	保健指導 終了者(人) 【C】	終了者 割合(%) 【C/A】
28	動機づけ	310	209	67.4%	197	63.5%
	積極的	131	74	56.5%	64	48.9%
	計	441	283	64.2%	261	59.2%
29	動機づけ	335	229	68.4%	225	67.2%
	積極的	125	69	55.2%	64	51.2%
	計	460	298	64.8%	289	62.8%
30	動機づけ	319	221	69.3%	210	65.8%
	積極的	122	74	60.7%	57	46.7%
	計	441	295	66.9%	267	60.5%
31	動機づけ	302	206	68.2%	209	69.2%
	積極的	104	55	52.9%	54	51.9%
	計	406	261	64.3%	263	64.8%

初回面接実施者は年度内の対象者となるが、保健指導終了者は年度をまたいでの終了者も含まれる。

資料：法定報告

表10 健診別初回特定保健指導実施率

(%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
集団健診	74.9	63.5	72.2	71.1	82.7
個別健診	40.1	48.9	54.4	45.5	49.3

資料：健康管理システム

② 特定保健指導利用者の改善率

特定保健指導利用者の改善率を、特定保健指導対象者の減少率（C）で見ると、目標の30%には達していませんでした。

ただし、効果判定とする次年度に健診を受けた人（A'）に限定すると、改善率（D）は平成30年度で31.0%となりました。

内訳をみると、数値の改善によるものが、平成24年度の34人（43.6%）から平成30年度は49人（69.0%）と増加しています。

さらに、平成30年度の特定保健指導利用者で、指導の有無による改善率を比較したところ、指導実施者及び未実施者においてどちらも半数以上が改善していました。（表12）

指導を実施していない人についても、健診結果送付時に健診結果の見方や健康に関するリーフレットの同封や、電話指導により改善がみられたのではないかと考えます。

表11 特定保健指導利用者の改善率

年 度		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
特定保健指導実施率(%)		34.6%	48.5%	49.2%	58.7%	59.2%	62.8%	60.5%	
A	今年度の特定保健指導の利用者数	251	295	272	313	285	301	302	
	A'	うち継続受診者(次年度受診した者)	210	238	212	245	224	243	229
		(受診率)	83.7%	80.7%	77.9%	78.3%	78.6%	80.7%	75.8%
B	Aのうち、次年度は保健指導の対象ではなくなった者の数	78	91	82	85	71	98	71	
内 訳	特定保健指導により数値が改善し、対象外となった者の数	34	57	47	51	42	67	49	
	内服治療開始により対象外となった者の数	29	28	32	33	28	30	22	
	資格喪失により対象外となった者の数	15	6	3	1	1	1	0	
C	特定保健指導対象者の減少率(B/A)	31.1%	30.8%	30.1%	27.2%	24.9%	32.6%	23.5%	
D	うち評価できた特定保健指導対象者の減少率(B/A')	37.1%	38.2%	38.7%	34.7%	31.7%	40.3%	31.0%	

資料：法定報告

表12 特定保健指導利用者のリスク数減少率(平成30年度)

A.特定保健指導実施 有無別対象者数	B.次年度リスク数が維持もしくは減少した者					維持もしくは 減少した者の割合 (B./A)	
	再掲(減少数別人数)						
	0	-1	-2	-3			
実施	297	180	105	66	9	0	60.6%
未実施	141	77	45	26	5	1	54.6%

資料：健康管理システム

※リスク数は、血糖高値・血圧高値・脂質異常・喫煙の数

<今後の方向性>

特定保健指導実施後は、毎年、3～4割の改善を見せているものの、特定保健指導対象者数があまり減少しないのは、新規受診者に対象者が多いことや、連続ではなくリバウンドして特定保健指導対象となる人がいるためです。生活習慣改善の意識継続ができるように、今後も事例検討等を実施し指導者のスキルアップに努めていく必要があります。

(3) 重症化予防事業評価

重症化予防事業では、①Ⅱ度高血圧(160/100mmHg)以上の未治療者 5.3% ②LDL-c180mg/dl以上の未治療者 3.0% ③HbA1c6.5%以上の未治療者 2.5% ④尿蛋白2+以上の未治療者 0.6% ⑤e-GFR50未満の未治療者 1.0% としました。

高血圧Ⅱ度以上の未治療者は平成27年度と比較し5.4%と改善していますが、目標値には達していません。LDL-CやHbA1c、尿蛋白やe-GFRの未治療者は悪化もしくは変化なしの状況でした。

【重症化予防評価】

	平成27年度	令和元年度	評価	目標値
Ⅱ度高血圧以上の未治療者	5.5%	5.4%	改善	5.3%
LDL-C180mg/dl以上の未治療者	3.4%	4.7%	悪化	3.0%
HbA1c6.5%以上の未治療者	2.9%	3.5%	悪化	2.5%
尿蛋白2+以上の未治療者	0.7%	1.0%	悪化	0.6%
e-GFR50未満の未治療者 (70歳以上はe-GFR40未満)	1.3%	1.3%	変化なし	1.0%

① 重症化予防事業

平成28年度から、後期高齢者も含めた健診受診者で、下表の5項目（血圧・LDLコレステロール・中性脂肪・血糖・腎臓）に該当した対象者へ保健指導を実施しました。

重症化予防対象者は、平成28年度598名から令和元年度は543名に減少しました。

平成28年度は230名（38.5%）に対し、令和元年度は349名（64.3%）に指導を実施しました。

指導の有無で病院受診率を比較すると、指導なしの病院受診率36.1%に対し、指導ありで51.6%と半数以上が病院受診につながりました。また、平成28年度と比較しても、病院受診率が増加しています。指導方法別でみると、面接の57.0%が一番高く、続いて訪問、電話の順となっていました。

項目別で病院受診率をみると、LDL-C40.6%の受診率が一番低く、指導なしが22.9%、指導ありが46.6%と指導の有無で差が大きくなっているため、機会をとらえて指導することの重要性を感じます。

平成28年度と令和元年度で未治療者の数が減少していることや、生活習慣病の治療者数の割合（表14）が上昇していることから、治療につながっていることが見受けられ、未治療者への受診勧奨を行った効果といえます。

また、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の7～8割に高血圧症があり、かつ5～6割に脂質異常症があります。脳血管疾患・虚血性心疾患では4割に糖尿病がみられているため、重症化予防にはこれらの基礎疾患を早期に治療につなげていくことが重要です。

表13 重症化予防事業（5項目）受診状況まとめ（令和元年度）

項目	年度	(再掲) 指導の有無																	
		総数			指導なし			指導あり			(再掲) 指導方法別受診率								
		対象者数	病院受診者数	病院受診率(%)	対象者数	病院受診者数	病院受診率(%)	対象者数	病院受診者数	病院受診率(%)	面接にて指導			訪問にて指導			電話にて指導		
											指導人数	病院受診者数	病院受診率(%)	指導人数	病院受診者数	病院受診率(%)	指導人数	病院受診者数	病院受診率(%)
血圧 Ⅱ度高血圧（収縮期160以上又は拡張期100以上）かつ降圧剤内服なし	H28	146	48	32.9	86	27	31.4	60	21	35.0	43	18	41.9	4	1	25.0	13	2	15.4
	R1	112	56	50.0	29	12	41.4	83	44	53.0	52	31	59.6	6	4	66.7	25	9	36.0
LDL コレステロール 180mg/dl以上かつ脂質内服なし	H28	117	39	33.3	76	21	27.6	41	18	43.9	25	12	48.0	0	0	0	16	6	37.5
	R1	138	56	40.6	35	8	22.9	103	48	46.6	66	34	51.5	6	1	16.7	31	13	41.9
中性脂肪 1000mg/dl以上かつ脂質内服なし	H28	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	R1	1	1	100	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血糖 NGSP6.5%以上かつ血糖内服なし	H28	131	53	40.5	89	28	31.5	42	25	59.5	32	20	62.5	5	3	60.0	5	2	40.0
	R1	111	54	48.6	41	14	34.1	70	40	57.1	44	28	63.6	3	1	33.3	23	11	47.8
腎臓 GFR50未満（70歳未満はGFR40未満）または尿蛋白2+以上かつ腎臓治療なし	H28	201	85	42.3	115	37	32.2	86	48	55.8	61	43	70.5	5	1	20.0	20	4	20.0
	R1	181	83	45.9	88	35	39.8	93	48	51.6	66	37	56.1	6	3	50.0	21	8	38.1
計	H28	598	225	37.6	368	113	30.7	230	112	48.7	161	93	57.8	14	5	35.7	55	14	25.5
	R1	543	250	46.0	194	70	36.1	349	180	51.6	228	130	57.0	21	9	42.9	100	41	41.0

資料：健康管理システム

表14 生活習慣病の治療者数構成割合（平成25・27・令和元年度）

年度	全被保険者数	治療者数	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症
H25	11,781人	4,180人 35.5%	526人 4.5%	658人 5.6%	74人 0.6%
H27	11,007人	3,896人 35.4%	508人 4.6%	620人 5.6%	87人 0.8%
R1	9,028人	3,691人 40.9%	484人 5.4%	539人 6.0%	82人 0.9%
		の基礎な疾患	高血圧 394人 81.4%	435人 80.7%	61人 74.4%
		糖尿病 197人 40.7%	228人 42.3%	82人 100.0%	
		脂質異常症 255人 52.7%	327人 60.7%	52人 63.4%	

資料：KDBシステム

② 糖尿病性腎症（腎臓病）重症化予防事業

平成27年度に長崎県糖尿病性腎症重症化予防事業推進スキームが示され、人工透析への移行を防止することを目的に、国民健康保険被保険者および後期高齢者を対象に本事業を実施しています。対策は、①HbA1c6.5%以上の未治療者の受診勧奨、②受診中断者への受診勧奨、③ハイリスク者対策（糖尿病治療中で腎機能低下者）となっています。①②については医療機関への受診勧奨強化で前述しており、ここでは③ハイリスク対象者についての重症化予防事業について評価します。

平成30年度に糖尿病性腎症重症化予防事業から糖尿病性腎臓病重症化予防事業へと変更され、糖尿病性腎症と疾患名がつかない対象者も幅広く早期にかかわることが重要視されることになりました。それにあわせて、選定基準を蛋白尿2+から蛋白尿±に変更しました。また、かかりつけ医からの紹介のみでなく、特定健診及び健康診査の結果で対象者を抽出しています。抽出後は本人から同意を得た上で、かかりつけの医療機関から対象者の検査データや指導上の注意などの助言をもらい、管理栄養士が訪問指導を実施するなどして、徐々に件数を増やしているところです。

表15 糖尿病性腎症重症化予防事業実施者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国保	1	4	3	2	2
後期	0	3	2	3	8
合計	1	7	5	5	10

資料：健康ほけん課健康づくり班

<今後の方向性>

脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症に高血圧・糖尿病・脂質異常症等の基礎疾患の重なりが高い割合でみられていることから、この基礎疾患の未治療者に対する受診勧奨を早いタイミングで行っていく必要があります。

したがって、今後も重症化予防対象者に対し、健診結果説明時や個別健診結果送付後の最も関心が高い時期に面接や訪問などを行い、受診行動につながるよう積極的に保健指導を実施していきます。

また、糖尿病性腎症重症化予防事業については、腎症の疾患名がつかない対象者も多く存在しており、未治療者がいる可能性が考えられることから、特定健診及び健康診査の結果から迅速に把握し、かかりつけ医の協力を得ながら、対象者に応じた指導を継続的に実施し、人工透析への移行防止に努めていきます。

第2章 医療費適正化事業

(1) 重複・多剤投与者に対する取り組み

本市では重複^{※1}・多受診者^{※2}に対して4名の臨時看護師で家庭訪問を実施しています。また、平成30年10月からは重複服薬^{※3}についても訪問を行っています。

平成25年度～令和元年度訪問実績は下表のとおりです。医療機関の適正受診はもとより、生活習慣の改善についての指導を実施している状況です。訪問後の成果については、訪問指導後の医療費を比較すると、レセプト件数や医療費の減少となりました。(表17)

表16 重複・多剤投与者への訪問指導件数 (人)

	対象者数	訪問件数	指導件数	未指導件数
25年度	8,731	1,145	872	273
26年度	8,523	1,159	875	284
27年度	8,560	1,144	867	277
28年度	8,477	1,005	772	233
29年度	8,996	1,070	847	223
30年度	12,001	1,215	922	293
元年度	11,288	1,459	1,367	92
合計	66,576	8,197	6,522	1,675
平均	9,511	1,171	932	239

※対象者は毎月レセプトから抽出するため重複者あり

資料：健康ほけん課国保年金班

※未指導件数=不在、入院(入所)中、指導拒否など

表17 訪問指導前後の医療費比較(入院除く)

全レセプト比較

	人数	レセプト件数計		差	レセプト点数計		差
		H28.1	H28.12		H28.1	H28.12	
対象者計	49	180	116	△ 64	376,303	249,148	△ 127,155
一人当たり(平均)		3.7	2.4	△ 1.3	7,679.7	5,084.7	△ 2,595.0
		H31.1	R1.12		H31.1	R1.12	
対象者計	93	186	103	△ 83	414,768	199,639	△ 215,129.0
一人当たり(平均)		4.1	2.3	△ 1.8	9,217.1	4,436.4	△ 4,780.7

調剤以外分比較

	人数	レセプト件数計		差	レセプト点数計		差
		H28.1	H28.12		H28.1	H28.12	
対象者計	49	106	69	△ 37	255,272	179,832	△ 75,440
一人当たり(平均)		3.7	2.4	△ 1.3	5,209.6	3,670.0	△ 1,539.6
		H31.1	R1.12		H31.1	R1.12	
対象者計	93	112	56	△ 56	309,800	116,708	△ 193,092
一人当たり(平均)		2.5	1.2	△ 1.3	6,884.4	2,593.5	△ 4,290.9

資料：健康ほけん課国保年金班

(2) ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進の取り組み

被保険者の医療費に対する認識と健康管理の重要性を認識してもらうため、医療費通知に併せ、ジェネリック医薬品を使用した場合の差額通知を年3回実施しています。ジェネリック使用割合は年々増加しています。

表18 ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用割合及び県下順位

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
割合(%)	71.3	75.1	79.9	82.7
県順位	5位	5位	6位	6位

資料：健康ほけん課国保年金班

【ジェネリック医薬品利用割合】

ジェネリック医薬品利用割合は数量ベース（新指標）による。

$$\text{ジェネリック医薬品数量} / \text{ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量} + \text{ジェネリック医薬品の数量}$$

※1 重複受診：同一疾病で、同時に複数の医療機関に受診すること。

※2 多受診：1か月に3つ以上の医療機関に受診すること。

※3 重複服薬：複数の医療機関を受診している場合に同じ効能の薬が重複して処方されていること。

第3章 平戸市の健康課題

1. 死亡状況

(1) 平均寿命と健康寿命の状況

本市の令和元年度の平均寿命^{※4}は、男性79.6歳、女性87.5歳と平成28年度比較し、男性で0.9歳、女性で1.6歳伸びています。長崎県内でも男性は低い順位にあり、女性は順位の上昇がみられます。健康寿命は介護保険の要介護2～5を不健康な状態、それ以外を健康（自立）とする「日常生活動作が自立している期間の平均＝平均自立期間」として算出。男性78.2歳、女性84.3歳と平成28年度比較し、男性で0.9歳、女性で1.5歳伸びています。

表19 平均寿命と健康寿命の状況

(歳)

		男性				女性			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均寿命	平戸市	78.7	78.7	79.0	79.6	85.9	85.7	85.9	87.5
	長崎県	79.9	80.6	80.7	80.7	86.8	87.0	87.2	87.0
	県内順位	16位	19位	20位	17位	14位	17位	16位	6位
健康寿命 (平均自立期間)	平戸市	77.3	77.2	77.4	78.2	82.8	82.7	82.9	84.3
	長崎県	78.5	79.1	79.3	79.2	83.6	83.9	84.0	83.9
	県内順位	16位	20位	20位	17位	17位	19位	16位	7位

資料：KDBシステム

(2) 死亡状況

標準化死亡比^{※5}を見ると、令和元年度で本市は、男性113.9、女性98.0となっており、男性は長崎県、全国より高く、女性は改善されています。

死因割合を見ると、がんが最も多く43.8%を占めており、次いで心臓病31.7%、脳血管疾患19.3%の順となっています。心臓病・脳血管疾患による死亡は、長崎県、全国と比較しても高い状況にありますが、心臓病の割合は増加し、脳血管疾患の割合は低下しています。

表20 標準化死亡比及び死因割合（平成25・27・令和元年度）

		平戸市			長崎県			全国		
		平成25年度	平成27年度	令和元年度	平成25年度	平成27年度	令和元年度	平成25年度	平成27年度	令和元年度
標準化死亡比 (SMR)	男性	109.8	113.9	113.9	103.6	103.1	103.1	100		
	女性	108.2	98.0	98.0	98.6	98.1	98.1	100		
死因 (割合)	がん	42.2	45.9	43.8	49.2	50.0	49.6	48.3	49.0	49.9
	心臓病	27.5	30.1	31.7	26.8	27.3	28.5	26.6	26.4	27.4
	脳血管疾患	24.0	19.8	19.3	15.9	15.0	14.0	16.3	15.9	14.7
	糖尿病	1.2	0.6	0.3	1.6	1.5	1.5	1.9	1.9	1.9
	腎不全	3.0	1.8	3.7	4.0	3.3	4.2	3.4	3.4	3.4
	自殺	2.1	1.8	1.2	2.6	2.8	2.3	3.5	3.5	2.7

資料：KDBシステム

※4 平均寿命：零歳の者があと平均何年生きられるかを示した数。

※5 標準化死亡比（SMR）：年齢構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。日本平均を100としており、この値が100以上であるとその集団の死亡率は高いといえる。

2. 介護保険の状況

(1) 要介護(支援)認定者数の推移

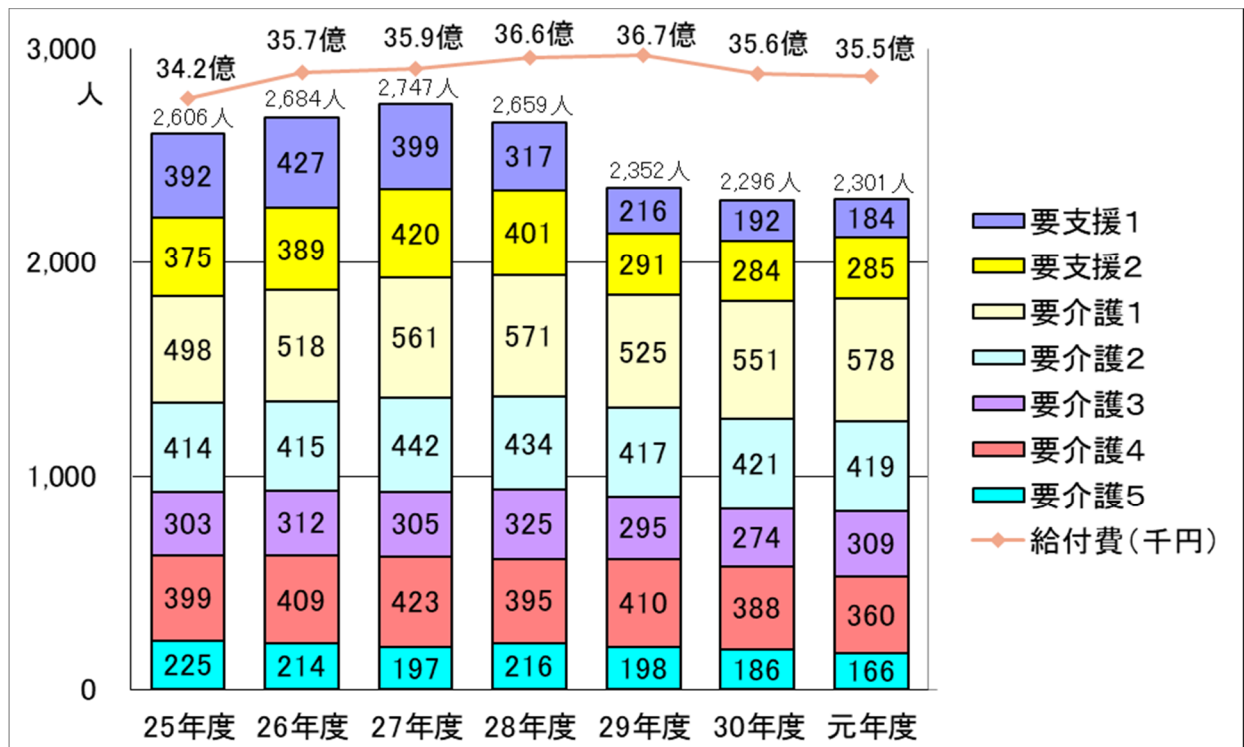
本市の介護認定者数は、平成27年度まで増加傾向で推移してきましたが、平成27年度の2,747人をピークに、以降は減少が続いています。要介護度別にみると、要介護1が多くなっています。

また、総合事業が開始された平成29年度以降の直近3年間の傾向をみると、要支援1、要支援2、要介護3、要介護5が継続的に下降しています。(図9)

令和元年度の全国、長崎県に比べ、要介護3・4・5の重度認定者の割合は高い状況です。(表21)

介護給付費は、平成29年度まで増加傾向で推移してきましたが、平成29年度の36.7億をピークに、以降は減少が続いています。(図9)

図9 要介護(支援)認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告

表21 要介護(支援)認定者数及び割合(令和元年度)

		計	軽度認定者				計	重度認定者			計
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2		要介護3	要介護4	要介護5	
平戸市	認定者(人)	2,301	184	285	578	419	1,466	309	360	166	835
	割合(%)	100.0	8.0	12.4	25.1	18.2	63.7	13.4	15.6	7.2	36.3
長崎県	認定者(人)	86,487	11,284	13,074	20,620	13,610	58,588	11,345	10,278	6,276	27,899
	割合(%)	100.0	13.0	15.1	23.8	15.7	67.7	13.1	11.9	7.3	32.3
全国	認定者(人)	6,558,324	922,266	924,379	1,330,743	1,129,262	4,306,650	862,100	803,074	586,500	2,251,674
	割合(%)	100.0	14.1	14.1	20.3	17.2	65.7	13.1	12.2	8.9	34.3

資料：介護保険事業状況報告(3月月報)

(2) 要介護認定者の有病状況

令和元年度に要介護となった認定者の有病状況をみると、93.8%が血管疾患を有していることが分かりました。また、循環器疾患の中でも、脳卒中の割合が高く、特に2号認定者（40～64歳）では、脳卒中の割合が76.5%と原因疾患の多くを占めていました。基礎疾患である高血圧、糖尿病、脂質異常症の適切なコントロールは要介護状態にならないために非常に重要です。

また、認知症や筋・骨格系の件数も多いことから、長寿介護課とも連携して寝たきり予防を図っていきます。

表22 要介護認定者の有病状況（令和元年度）

要介護認定状況 ★NO.47	受給者区分		2号		1号		1号		合計							
	年齢	40～64歳	65～74歳	75歳以上	計	合計										
	被保険者数	10,743人	5,136人	6,778人	11,914人	22,657人										
	認定者数	42人	194人	2,163人	2,357人	2,399人										
	認定率	0.39%	3.8%	31.9%	19.8%	10.6%										
	新規認定者数(*1)	0人	0人	0人	0人	0人										
介護度別人数	要支援1・2	10	23.8%	36	18.6%	443	20.5%	479	20.3%	489	20.4%					
	要介護1・2	11	26.2%	89	45.9%	929	42.9%	1,018	43.2%	1,029	42.9%					
	要介護3～5	21	50.0%	69	35.6%	791	36.6%	860	36.5%	881	36.7%					
要介護 突合状況 ★NO.49	レセプトの診断名より重複して計上)	疾患	順位	疾病	件数	割合	疾病	件数	割合	疾病	件数	割合	疾病	件数	割合	
				件数	--	17	143	-	143	160						
		血管疾患	循環器疾患	1	脳卒中	13	76.5%	脳卒中	77	53.8%	脳卒中	77	53.8%	脳卒中	90	56.3%
				2	腎不全	4	23.5%	虚血性心疾患	60	42.0%	虚血性心疾患	60	42.0%	虚血性心疾患	60	37.5%
				3	虚血性心疾患	0	0.0%	腎不全	28	19.6%	腎不全	28	19.6%	腎不全	32	20.0%
			基礎疾患(*2)	糖尿病	9	52.9%	糖尿病	78	54.5%	糖尿病	78	54.5%	糖尿病	87	54.4%	
				高血圧	11	64.7%	高血圧	108	75.5%	高血圧	108	75.5%	高血圧	119	74.4%	
				脂質異常症	5	29.4%	脂質異常症	80	55.9%	脂質異常症	80	55.9%	脂質異常症	85	53.1%	
			血管疾患合計	合計	16	94.1%	合計	134	93.7%	合計	134	93.7%	合計	150	93.8%	
		認知症	認知症	4	23.5%	認知症	34	23.8%	認知症	34	23.8%	認知症	38	23.8%		
		筋・骨格疾患	筋骨格系	11	64.7%	筋骨格系	127	88.8%	筋骨格系	127	88.8%	筋骨格系	138	86.3%		

*1) 新規認定者についてはNO.49.要介護突合状況の「開始年月日」を参照し、年度累計を計上
*2) 基礎疾患のうち、糖尿病については、糖尿病の合併症（網膜症・神経障害・腎症）も含む

資料：KDBシステム

3. 人工透析の状況（国保）

国民健康保険の人工透析患者数をみると、令和元年度はわずかに減少していますが、本市が県内で一番多い状況です。（表23）新規透析患者数をみても、平成28年度を除き、常に県内で上位にいます。（表24）平成27～令和元年度の新規透析患者30名を性別・年齢別でみると男性が86.7%と圧倒的に多く、年代では60代・70代で多くなっています。

透析に至るまでは、長い経過があり、病気のために途中から国保になる可能性があるため、職域との連携や、広く市民に糖尿病や腎臓病について普及啓発を行う必要があります。

表23 人工透析患者数（年度末時点）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
患者数(人)	54	54	56	49
被保険者数率(%)	0.52	0.55	0.6	0.5
県内順位	1位	1位	1位	1位

資料：KDBシステム

表24 新規人工透析患者数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規患者数(人)	8	3	6	5	8
被保険者千対(%)	0.7	0.3	0.6	0.5	0.9
県内順位	2位	19位	5位	6位	2位

資料：KDBシステム

表25 男女別新規人工透析患者数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
新規患者数(人)	8	3	6	5	8	30
男	8	2	5	5	6	26(86.7%)
女	0	1	1	0	2	4(13.3%)

資料：KDBシステム

表26 年代別新規人工透析患者数

年代	40代	50代	60代	70代
新規患者数(人)	1	2	14	13

資料：KDBシステム

人工透析にかかる費用額をみると、51人で年間費用額が3億2,326万円となっていることから、1人当たりに換算すると年間で約630万円以上の費用がかかっている事になります。

また、透析患者の43.1%は糖尿病性腎症を有しており、脳血管疾患や虚血性心疾患も併発している状況がみられます。新規透析患者を増やさないことは、医療費を削減するためには、大変重要なことと考えます。

糖尿病はもとより、脳血管疾患や虚血性心疾患の基礎となる高血圧症や脂質異常症予防にも更に取り組んでいく事が課題になります。

表27 長期化する疾患の人工透析患者（令和元年度5月診療分）

対象レセプト		全体	糖尿病性腎症	脳血管疾患	虚血性心疾患
R1.5 診療分	人数	51人	22人	14人	19人
			43.1%	27.5%	37.3%
R1年度 累計	件数	717件	295件	229件	312件
			41.1%	31.9%	43.5%
	費用額	3億2,326万円	1億3,241万円	1億318万円	1億3,903万円
			41.0%	31.9%	43.0%

※各疾患については重複あり

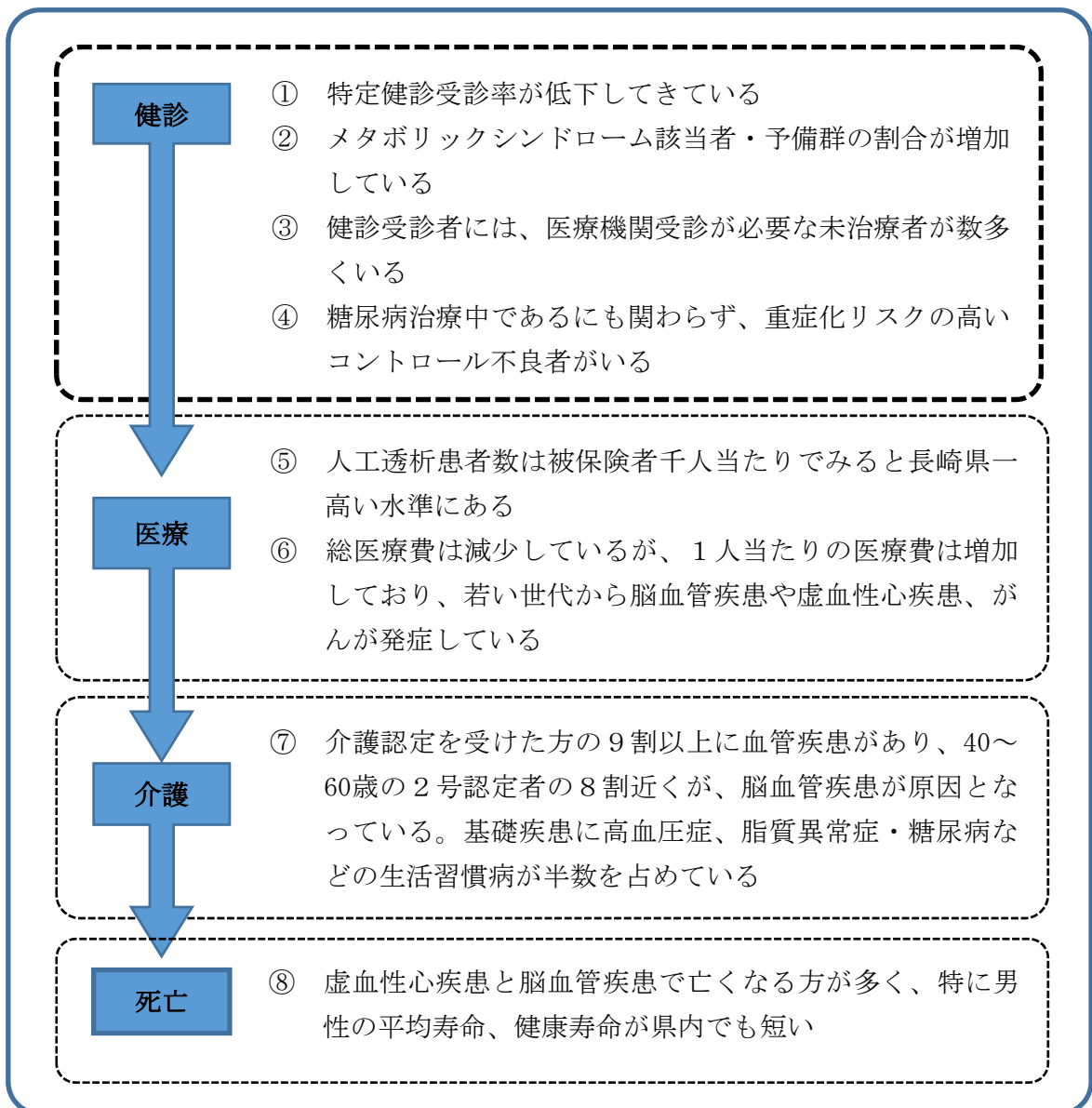
資料：KDBシステム

第4章 これからの保健事業

1. 再整理後の健康課題

中間評価分析結果から、健康状態の段階ごとに健康課題を再整理しました。

再整理後の健康課題



2. 目標の設定

中間評価を行ない、以下のように「**目標の設定内容**」「**目標値**」の変更をしました。

- (1) 健康課題を「**健康寿命の延伸**」から「**健康寿命の延伸**」と「**医療費・介護費の伸びの抑制**」とする。
- (2) 中長期目標を「**脳血管疾患の死亡率の減少**」「**虚血性心疾患死亡率の減少**」「**新規透析患者数の減少**」から（国民健康保険被保険者の）「**新規脳血管疾患患者数の減少**」「**新規虚血性心疾患患者数の減少**」「**新規透析患者数の減少**」とする。
- (3) 以下のとおり目標値を変更する。
 - ① 中長期目標設定内容の変更に伴う目標値の設定。
 - ② 短期目標の現状値を踏まえての目標値変更。
 - ・ **メタボ該当者・予備群「29.3%」**から、現状値が増加傾向にあり目標達成困難なため長崎県平均値の「**33.0%**」にする。
 - ・ 高血圧の改善について、**Ⅱ度高血圧以上「6.0%**」から令和元年度に目標達成しているため、「**4.9%**」にする。
 - ③ 保健事業の現状値を踏まえての目標値変更。
 - ・ **特定保健指導実施率「60.0%**」から目標達成しているため、「**65.0%**」にする。

健康寿命の延伸 医療費・介護費の伸びの抑制

<中・長期的目標>

新規脳血管疾患患者数の減少
目標値：14.5（被保険者千対）

新規虚血性心疾患患者数の減少
目標値：13.0（被保険者千対）

新規透析患者数の減少
目標値：5人（被保険者）

<短期的目標>

メタボ該当者・予備群の減少

目標値:33.0%

高血圧の改善
(Ⅱ度高血圧以上の減少)

目標値:4.9%

脂質異常症の減少
(LDL-C180mg/dl以上の減少)

目標値:3.0%

糖尿病有病者の増加の抑制
(HbA1c6.5%以上(治療中7%以上)の減少)

目標値:5.0%

<保健事業>

1 特定健診受診率向上

目的：受診率UP

目標：60%

40歳代受診率：30%

新規受診率：全受診者の10%

2 特定保健指導率実施率・改善率向上

目的：保健指導率UP

目標：65%

個別健診保健指導実施率：60%

特定保健指導

実施者の改善率：30%

3 重症化予防

目的：合併症の発症・進行抑制

目標：①～⑤の未治療者割合DOWN

①Ⅱ度高血圧以上の者5.3%

②LDL-c180mg/dl以上の者3.0%

③HbA1c6.5%以上の者2.5%

④尿蛋白2+以上の者0.6%

⑤e-GFR50未満の者1.0%

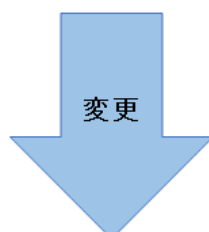
3. 具体的な取り組み方針

事業名	実施内容
1. 特定健診受診率向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ①若い世代・働き世代が受診しやすいように、日曜日、夜間、早朝健診を実施します。 ②健診開始年齢である40歳の方や健診未受診者の方に対し、健康づくり推進員などの協力を得て、訪問や電話で健診受診の周知を実施します。 ③医療機関との連携を強化し、医療機関通院中の健診未受診者の健診受診勧奨や、情報提供書の提供依頼を実施します。 ④健診未受診者の事業所健診の結果を提供していただくために、事業所との連携を強化します。 ⑤健診結果提供者へは特典を設けます。 ⑥健診受診行動のきっかけになるよう「健康ポイント制度」を設けます。 ⑦検査項目が充実している人間(脳)ドックを実施します。 ⑧わかりやすい通知の工夫を行います。
2. 疾病予防対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ①35～39歳の国保被保険者に対し、40歳以上の特定健診と同等の事業を実施します。
3. 特定保健指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ①集団健診会場、結果説明会、訪問など機会を積極的に設け、確実に指導を実施します。 ②アウトソーシング等により、個別健診受診者の指導につなげていきます。 ③事例検討を行い、指導従事者の指導技術の向上を図ります。
4. 重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ①平戸市で定めた重症化予防の基準で、受診勧奨と生活習慣改善ができるよう保健指導を実施します。 ②確実に受診につなげるために、特に面接を中心として、訪問、電話による指導を実施します。
5. 糖尿病性腎臓病(腎症)重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ①糖尿病性腎症ハイリスク者へ保健指導を実施します。 ②健診結果や糖尿病管理台帳を活用し、かかりつけ医との連携を図って保健指導を実施します。 ③県や医療機関と連携し、腎機能低下者の指導を強化します。
6. ジェネリック医薬品使用促進事業	<p>ジェネリック医薬品を使用した場合の差額通知を年3回実施します。</p>
7. 重複・頻回受診支援事業	<p>同一疾患で複数の医療機関を重複して受診している被保険者や1ヶ月以上通院している被保険者に対し、適切な医療機関への受診指導を実施します。</p>
8. フレイル予防事業	<p>令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が始まることにより、以下の内容を追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①後期高齢者健康診査の健診結果と質問票からフレイル予防事業対象者を抽出して、結果説明会や訪問によるハイリスクアプローチ(個別支援)を行います。 ②KDBシステムより、地域課題を明らかにして、通いの場においてポピュレーションアプローチ(健康教育)や健康相談を実施します。 ③介護サービスや医療サービスの必要な方は長寿介護課や、かかりつけ医につなげます。

4. 数値目標

項目		実績値					初期目標値	
		H27	H28	H29	H30	R1		
中・長期的目標	脳血管疾患の死亡率の減少(%)	19.8	19.9	20.5	22.3	19.3	15.0	
	虚血性心疾患死亡率の減少(%)	30.1	28.1	27.7	23.5	31.7	27.3	
	新規透析患者数の減少(人)※社保含む	15	14	18	14	15	10	
短期的目標	メタボ該当者・予備群の減少(%)	33.5	33.9	34.6	34.2	34.5	29.3	
	高血圧の改善(%) (Ⅱ度高血圧以上の減少)	7.1	6.6	7.0	6.3	4.9	6.0	
	脂質異常症の減少(%) (LDL-C180mg/dl以上の減少)	3.1	3.0	3.6	3.2	4.0	3.0	
	糖尿病有病者の増加の抑制(%) (HbA1c6.5%以上(治療中7%以上)の減少)	5.2	5.8	7.6	6.5	6.4	5.0	
	特定健診受診率向上(%)	53.8	52.8	56.7	55.3	53.5	60.0	
保健事業	特定健診	40~50歳代の対象者30%	34.1	35.6	39.4	37.8	36.4	30.0
		新規受診者1割	10.0	8.9	9.8	9.0	7.2	10.0
	特定保健指導	特定保健指導率実施率向上(%)	58.7	59.2	62.8	60.5	64.8	60.0
		個別健診後保健指導実施率(%)	40.1	48.9	54.4	45.5	49.3	60.0
		特定保健指導実施者改善率(%)	27.2	24.9	32.6	23.5	※	30.0
	重症化予防	Ⅱ度高血圧以上の者の減少(%)	5.5	5.9	6.9	6.2	5.4	5.3
		LDL-C180mg/dl以上の者の減少(%)	3.4	3.2	4.3	3.7	4.7	3.0
		HbA1c6.5%以上の者の減少(%)	2.9	3.0	8.9	4.0	3.5	2.5
		尿蛋白2+以上の者の減少(%)	0.7	0.7	2.3	1.3	1.0	0.6
		eGFR50未満の者の減少(%)	1.3	1.1	3.7	1.7	1.3	1.0

※令和元年度の改善率は、令和2年度の健診結果によって判定されるため、集計ができない。



数値目標(改定)

項目		実績値					目標値	
		H27	H28	H29	H30	R1		
中・長期的目標	新規脳血管患者数の減少 (人(被保険者千対))	192 (17.6)	164 (15.9)	171 (17.6)	156 (16.6)	133 (14.8)	14.5	
	新規虚血性心疾患患者数の減少 (人(被保険者千対))	248 (22.8)	167 (16.2)	166 (17.0)	132 (14.2)	120 (13.3)	13.0	
	新規透析患者数の減少(国保)	8	3	6	5	8	5	
短期的目標	メタボ該当者・予備群の減少(%)	33.5	33.9	34.6	34.2	34.5	33.0	
	高血圧の改善 (Ⅱ度高血圧以上の減少(%))	7.1	6.6	7.0	6.3	4.9	4.9	
	脂質異常症の減少 (LDL-C180mg/dl以上の減少(%))	3.1	3.0	3.6	3.2	4.0	3.0	
	糖尿病有病者の増加の抑制 (HbA1c6.5%以上(治療中7%以上)の減少(%))	5.2	5.8	7.6	6.5	6.4	5.0	
保健事業	特定健診	特定健診受診率(%)	53.8	52.8	56.7	55.3	53.5	60.0
		40歳代の受診率(%)	26.3	26.6	30.3	29.1	28.6	30.0
		新規受診率(%)	10.0	8.9	9.8	9.0	7.2	10.0
	特定保健指導	特定保健指導実施率(%)	58.7	59.2	62.8	60.5	64.8	65.0
		個別健診後保健指導実施率(%)	40.1	48.9	54.4	45.5	49.3	60.0
		特定保健指導実施者改善率(%)	27.2	24.9	32.6	23.5	※	30.0
	重症化予防事業	Ⅱ度高血圧以上の者の減少(%)	5.5	5.9	6.9	6.2	5.4	5.3
		LDL-C180mg/dl以上の者の減少(%)	3.4	3.2	4.3	3.7	4.7	3.0
		HbA1c6.5%以上の者の減少(%)	2.9	3.0	8.9	4.0	3.5	2.5
		尿蛋白2+以上の者の減少(%)	0.7	0.7	2.3	1.3	1.0	0.6
eGFR50未満の者の減少(%)		1.3	1.1	3.7	1.7	1.3	1.0	

※令和元年度の改善率は、令和2年度の健診結果によって判定されるため、集計ができない。

< 資 料 >

健診・医療・介護のデータを同規模市（平均）・県・国と比較した平戸市の位置（平成27年度）

項目		保険者		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)									
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合										
1	① 人口構成	総人口		34,811		8,684,009		1,411,818		124,852,975		KDB_NO.5 人口の状況 KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域 の健康課題							
		65歳以上（高齢化率）		11,576	33.3	2,536,045	29.2	368,546	26.1	29,020,766	23.2								
		75歳以上		6,549	18.8		16	198,412	14.1	13,989,864	11.2								
		65～74歳		5,027	14.4		13.2	170,134	12.1	15,030,902	12.0								
		40～64歳		12,200	35.0		34.1	490,212	34.7	42,411,922	34.0								
	39歳以下		11,035	31.7		36.7	553,060	39.2	53,420,287	42.8									
	② 産業構成	第1次産業		20.7		11.4		8.2		4.2		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域 の健康課題							
		第2次産業		19.2		27.5		20.2		25.2									
		第3次産業		60.1		61.1		71.6		70.6									
	③ 平均寿命	男性		78.6		79.2		78.9		79.6		KDB_NO.1 地域全体像の把握							
女性		85.9		86.4		86.3		86.4											
④ 健康寿命	男性		64.7		65.1		64.6		65.2										
	女性		66.3		66.8		66.4		66.8										
2	① 死亡の状況	標準化死亡率 (SMR)		113.9		104.8		103.1		100		KDB_NO.1 地域全体像の把握							
		がん		151	45.9	30,597	45.5	4,925	50.0	364,251	49.0								
		心臓病		99	30.1	19,049	28.3	2,683	27.3	196,557	26.4								
		脳疾患		65	19.8	11,928	17.7	1,478	15.0	118,229	15.9								
		糖尿病		2	0.6	1,281	1.9	150	1.5	13,800	1.9								
		腎不全		6	1.8	2,418	3.6	329	3.3	25,091	3.4								
	自殺		6	1.8	1,956	2.9	280	2.8	25,917	3.5									
	② 早世予防からみた死亡 (65歳未満)	合計										厚労省HP 人口動態調査							
		男性																	
			女性																
3	① 介護保険	1号認定者数（認定率）		2,780	23.7	518,066	20.4	90,237	24.5	5,602,383	20.7	KDB_NO.1 地域全体像の把握							
		新規認定者		54	0.3	8,687	0.3	1,381	0.3	98,651	0.3								
		2号認定者		57	0.5	11,169	0.4	2,129	0.4	149,599	0.4								
	② 有病状況	糖尿病		625	21.9	118,155	21.8	24,248	25.9	1,241,024	21.4								
		高血圧症		1,791	62.4	289,746	53.9	57,022	61.1	2,865,466	49.7								
		脂質異常症		684	23.8	149,286	27.5	30,499	32.3	1,586,963	27.3								
		心臓病		2,072	72.0	330,980	61.6	64,916	69.7	3,261,576	56.7								
		脳疾患		902	30.7	150,762	28.2	26,846	28.7	1,455,985	25.4								
		がん		417	14.0	54,149	9.9	12,193	13.0	569,967	9.8								
		筋・骨格		1,876	64.8	285,059	53.0	59,282	63.7	2,813,795	48.9								
	精神		1,113	38.5	199,244	36.8	37,845	40.3	1,963,213	33.8									
	③ 介護給付費	1件当たり給付費（全体）		64,816		66,450		61,802		58,761									
		居宅サービス		39,849		41,277		43,532		39,562									
		施設サービス		281,800		281,031		284,590		284,402									
④ 医療費等	要介護認定別医療費（40歳以上）		9,904		8,302		7,969		8,011										
	認定あり		4,513		4,128		4,019		3,886										
		認定なし																	
4	① 国保の状況	被保険者数		10,896		2,283,290		399,039		33,767,446		KDB_NO.1 地域全体像の把握							
		65～74歳		4,104	37.7		42.1	150,345	37.7	12,502,023	37.0								
		40～64歳		4,081	37.5		35.1	144,479	36.2	11,577,016	34.3								
		39歳以下		2,711	24.9		22.8	104,215	26.1	9,688,407	28.7								
			加入率		31.3		26.3		28.3		28.2								
	② 医療の概況 (人口千対)	病院数		8		0.7		807		0.4		159		0.4		8,195		0.2	
		診療所数		18		1.7		6,276		2.7		1,425		3.6		95,093		2.8	
		病床数		690		63.3		129,349		56.7		27,024		67.7		1,511,416		44.8	
		医師数		51		4.7		16,117		7.1		4,065		10.2		285,309		8.4	
		外来患者数		624.6		691.9		719.2		667.5									
		入院患者数		30.2		23.3		27.5		18.2									
	③ 医療費の状況	一人当たり医療費		28,350	県内12位 同規模116位	27,827		29,144		24,452									
		受診率		654.843		715.177		746.73		685.692									
		外来費用の割合		52.6		57.9		54.2		60.8									
		来院件数の割合		95.4		96.7		96.3		97.4									
		入院費用の割合		47.4		42.1		45.8		39.2									
入院件数の割合		4.6		3.3		3.7		2.6											
1件あたり在院日数		17.9日		17.1日		18.0日		15.7日											
④ 医療費分析 生活習慣病に 占める割合 最大医療費源病 名（調剤含む）	がん		404,348,150	17.7	22.2		21.0		24.1										
	慢性腎不全（透析あり）		296,508,230	13.0	9.2		10.5		9.6										
	糖尿病		194,596,580	8.5	10.0		8.2		9.9										
	高血圧症		196,596,090	8.6	9.7		9.3		9.4										
	精神		474,740,090	20.8	19.5		21.1		16.8										
		筋・骨格		434,304,700	19.0	15.3		16.5		15.2									

項目	保険者		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)				
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合					
4	⑤	費用額 (1件あたり) 県内順位 順位総数25	総人口	34,811		8,684,009		1,411,818		124,852,975		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域	
			入院	糖尿病	481,238	23位	(16)						
			高血圧	468,669	25位	(18)							
			脂質異常症	482,025	16位	(18)							
			脳血管疾患	524,944	22位	(19)							
			心疾患	489,484	23位	(16)							
			腎不全	569,492	15位	(16)							
			精神	392,875	23位	(26)							
			悪性新生物	587,754	17位	(15)							
			外来	糖尿病	40,568	3位							
			高血圧	33,626	4位								
			脂質異常症	31,063	4位								
			脳血管疾患	38,980	10位								
			心疾患	44,851	9位								
	腎不全	146,900	21位										
	精神	36,553	3位										
	悪性新生物	52,198	6位										
	⑥	健診有無別 一人当たり 点数	健診対象者 一人当たり	4,425		2,682		2,807		2,147		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域	
			健診未受診者	14,305		13,162		13,454		12,679			
			生活習慣病対象者 一人当たり	12,580		7,148		7,430		6,153			
		健診未受診者	40,667		35,075		35,610		36,331				
	⑦	健診・レセ 突合	受診勧奨者	2,318	57.5	358,653	56.3	61,584	58.5	4,549,347	56.7	KDB_NO.1 地域全体像の把握	
			医療機関受診率	2,144	53.2	330,237	51.8	57,757	54.9	4,207,302	52.4		
			医療機関非受診率	174	4.3	28,416	4.5	3,827	3.6	342,045	4.3		
5	①	特定健診の 状況 県内順位 順位総数25	健診受診者	4,029		637,050		105,222		8,025,996		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域 の健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	②		受診率	53.3	県内4位			38.5		36.3			
	③		特定保健指導終了者(実施率)	58.7	県内13位			49.8		23.6			
	④		非肥満高血糖	383	9.5	66,271	10.4	8,944	8.5	739,527	9.2		
	⑤		メタボ	該当者	850	21.1	109,309	17.2	18,591	17.7	1,341,863		16.7
				男性	557	32.2	73,972	26.3	12,292	27.1	921,330		26.6
				女性	293	12.8	35,337	9.9	6,299	10.5	420,533		9.2
	⑥		予備群	男性	499	12.4	67,735	10.6	12,155	11.6	855,953		10.7
				女性	342	19.7	46,323	16.5	8,087	17.9	592,831		17.1
	⑦		メタボ 該当・ 予備群 レベル	総数	1,465	36.4	198,162	31.1	34,008	32.3	2,477,131		30.9
				男性	964	55.7	134,139	47.8	22,493	49.7	1,700,929		49.1
				女性	501	21.8	64,023	18.0	11,515	19.2	776,202		17.0
				総数	229	5.7	33,431	5.2	5,388	5.1	380,265		4.7
				男性	33	1.9	5,470	1.9	883	1.9	62,666		1.8
				女性	196	8.5	27,961	7.8	4,505	7.5	317,599		7.0
	⑧		血糖のみ	21	0.5	4,440	0.7	524	0.5	51,524	0.6		
	⑨		血圧のみ	384	9.5	47,510	7.5	9,359	8.9	595,410	7.4		
	⑩		脂質のみ	94	2.3	15,785	2.5	2,272	2.2	209,019	2.6		
	⑪		血糖・血圧	179	4.4	18,841	3.0	3,082	2.9	209,984	2.6		
⑫	血糖・脂質	36	0.9	6,008	0.9	785	0.7	71,663	0.9				
⑬	血圧・脂質	378	9.4	51,353	8.1	9,344	8.9	660,086	8.2				
⑭	血糖・血圧・脂質	257	6.4	33,107	5.2	5,380	5.1	400,130	5.0				
6	①	生活習慣の 状況	服薬	高血圧	1,768	43.9	222,340	34.9	41,600	39.5	2,664,571	33.2	KDB_NO.1 地域全体像の把握
			糖尿病	376	9.3	49,915	7.8	8,268	7.9	577,944	7.2		
			脂質異常症	898	22.3	145,561	22.9	24,482	23.3	1,839,311	22.9		
			既往歴	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	198	5.3	19,846	3.2	3,984	4.0	251,915	3.3	
			心臓病(狭心症・心筋梗塞等)	306	8.2	34,620	5.7	6,422	6.5	426,790	5.6		
			腎不全	35	0.9	3,069	0.5	637	0.6	37,671	0.5		
			貧血	664	17.7	55,157	9.1	13,534	13.6	771,975	10.2		
			喫煙	587	14.6	86,231	13.5	14,063	13.4	1,143,679	14.3		
			週3回以上朝食を抜く	347	9.3	37,060	6.7	8,870	9.0	574,353	8.4		
			週3回以上食後間食	525	14.0	66,731	12.1	13,634	13.8	807,222	11.9		
			週3回以上就寝前夕食	582	15.5	81,576	14.7	12,693	12.8	1,070,671	15.6		
			食べる速度が速い	1,086	28.9	146,259	26.5	26,943	27.2	1,763,368	25.9		
			20歳時体重から10kg以上増加	1,208	32.2	169,292	30.8	32,483	32.7	2,180,319	31.7		
			1回30分以上運動習慣なし	2,501	66.7	345,367	62.1	59,030	59.3	4,048,381	58.8		
1日1時間以上運動なし	1,025	27.3	248,793	44.6	36,012	36.3	3,194,143	46.5					
睡眠不足	842	22.4	131,245	23.6	21,600	21.7	1,675,807	24.6					
毎日飲酒	935	24.9	152,046	25.3	23,684	23.6	1,895,504	25.6					
時々飲酒	649	17.3	123,502	20.5	18,708	18.7	1,636,882	22.1					
②	一日 飲酒 量	1合未満	860	50.0	248,795	63.6	40,128	64.9	3,340,872	64.2			
		1~2合	624	36.3	95,281	24.4	15,431	25.0	1,241,611	23.8			
		2~3合	179	10.4	36,455	9.3	4,988	8.1	483,582	9.3			
		3合以上	57	3.3	10,417	2.7	1,271	2.1	141,265	2.7			

資料：KDBシステム

健診・医療・介護のデータを同規模市（平均）・県・国と比較した平戸市の位置（令和元年度）

項目		保険者		同規模平均		県		国		データ元 (CSV)		
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合			
1	① 人口構成	総人口		31,910		9,235,889		1,367,110		125,640,987		KDB_NO.5 人口の状況 KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題
		65歳以上（高齢化率）		11,914	37.3	3,036,277	32.9	404,686	29.6	33,465,441	26.6	
		75歳以上		6,778	21.2			212,587	15.6	16,125,763	12.8	
		65～74歳		5,136	16.1			192,099	14.1	17,339,678	13.8	
		40～64歳		10,743	33.7			459,861	33.6	42,295,574	33.7	
	39歳以下		9,253	29.0			502,563	36.8	49,879,972	39.7		
	② 産業構成	第1次産業		20.0		10.9		7.7		4.0		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題
		第2次産業		18.3		27.1		20.1		25.0		
		第3次産業		61.7		62.0		72.2		71.0		
	③ 平均寿命	男性		79.6		80.4		80.7		80.8		KDB_NO.1 地域全体像の把握
女性		87.5		86.9		87.0		87.0				
④ 健康寿命	男性		78.2		79.2		79.2		79.6			
	女性		84.3		84.0		83.9		84.0			
2	① 死亡の状況	標準化死亡率比 (SMR)		113.9		104.7		103.1		100		KDB_NO.1 地域全体像の把握
		男性		98.0		101.4		98.1		100		
		女性		98.0		101.4		98.1		100		
		がん		141	43.8	33,789	46.6	4,714	49.6	373,187	49.9	
		心臓病		102	31.7	21,109	29.1	2,704	28.5	204,720	27.4	
		脳疾患		62	19.3	11,869	16.4	1,333	14.0	109,818	14.7	
		糖尿病		1	0.3	1,336	1.8	138	1.5	13,964	1.9	
		腎不全		12	3.7	2,755	3.8	400	4.2	25,127	3.4	
		自殺		4	1.2	1,673	2.3	214	2.3	20,385	2.7	
		3	① 介護保険	1号認定者数（認定率）		2,357	19.6	595,070	19.5	89,039	21.8	
新規認定者				48	0.2	10,714	0.3	2,017	0.3	113,806	0.3	
2号認定者				42	0.4	10,975	0.4	1,809	0.4	152,813	0.4	
② 有病状況	糖尿病		500	21.0	139,887	23.1	24,329	26.6	1,537,914	23.0		
	高血圧症		1,474	61.2	333,418	54.9	55,796	61.0	3,472,146	51.7		
	脂質異常症		602	24.6	181,020	29.7	31,442	34.2	2,036,238	30.1		
	心臓病		1,691	70.5	378,090	62.4	63,328	69.4	3,939,115	58.7		
	脳疾患		746	31.4	155,845	26.0	24,725	27.2	1,587,755	24.0		
	がん		343	14.1	67,192	11.0	12,554	13.6	739,425	11.0		
	筋・骨格		1,619	66.3	330,145	54.6	57,396	63.0	3,448,596	51.6		
精神		1,068	45.3	238,440	39.3	40,009	43.7	2,437,051	36.4			
③ 介護給付費	1件当たり給付費（全体）		73,568		71,699		69,458		61,336		KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	居宅サービス		46,089		44,529		48,912		41,769			
	施設サービス		280,183		289,602		294,101		293,933			
④ 医療費等	要介護認定別		10,371		8,811		8,587		8,385		KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	医療費（40歳以上）		4,759		4,188		4,118		3,943			
4	① 国保の状況	被保険者数		9,008		2,153,815		323,114		27,083,475		KDB_NO.1 地域全体像の把握
		65～74歳		4,084	45.3			148,325	45.9	11,778,022	43.5	
		40～64歳		2,927	32.5			103,288	32.0	8,588,709	31.7	
		39歳以下		1,997	22.2			71,501	22.1	6,716,744	24.8	
	加入率		28.2		23.3		23.6		21.6			
	② 医療の概況 (人口千対)	病院数		7	0.8	873	0.4	150	0.5	8,411	0.3	KDB_NO.5 被保険者の状況
		診療所数		18	2.0	6,956	3.2	1,380	4.3	101,457	3.7	
		病床数		680	75.5	140,524	65.2	26,301	81.4	1,554,824	57.4	
		医師数		50	5.6	18,294	8.5	4,218	13.1	319,466	11.8	
		外来患者数		649.7		719.0		751.1		700.5		
入院患者数		33.3		24.8		29.9		19.7				
③ 医療費の 状況	一人当たり医療費		31,347		30,311		32,577		27,475		KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握	
	受診率		682,969		743,736		780,993		720,253			
	外 来	費用の割合		50.3		55.9		52.4		59.2		
		件数の割合		95.1		96.7		96.2		97.3		
	入 院	費用の割合		49.7		44.1		47.6		40.8		
		件数の割合		4.9		3.3		3.8		2.7		
	1件あたり在院日数		17.7日		17.1日		18.1日		16.0日			
④ 医療費分析 生活習慣病に 占める割合 最大医療資源傷病 名（調剤含む）	がん		398,984,510	22.7	28.7		26.7		29.9	KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域の 健康課題		
	慢性腎不全（透析あり）		193,731,520	11.0	7.6		10.3		8.5			
	糖尿病		172,705,500	9.8	10.6		8.8		10.2			
	高血圧症		108,718,690	6.2	7.0		6.8		6.6			
	精神		291,005,850	16.5	17.1		17.9		15.3			
	筋・骨格		373,419,920	21.2	16.6		17.7		16.4			

資料：KDBシステム

項目		保険者			同規模平均		県		国		データ元 (CSV)			
		実数	割合	(17)	実数	割合	実数	割合	実数	割合				
4	⑤	費用額 (1件あたり) 県内順位 順位総数25	入院	糖尿病	485,177	24位	(17)					KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域		
				高血圧	505,818	23位	(18)							
				脂質異常症	465,732	23位	(18)							
				脳血管疾患	532,016	25位	(20)							
				心疾患	564,526	20位	(16)							
				腎不全	592,947	21位	(18)							
				精神	415,981	24位	(25)							
				悪性新生物	580,738	24位	(14)							
				外来	糖尿病	40,009	7位							
					高血圧	33,228	4位							
					脂質異常症	30,929	4位							
					脳血管疾患	40,450	9位							
					心疾患	47,511	8位							
					腎不全	110,984	18位							
精神	31,666	4位												
悪性新生物	57,257	13位												
⑥	健診有無別 一人当たり 点数	健診対象者 一人当たり	健診受診者	3,261		2,722		2,586		2,150	KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域			
			健診未受診者	13,967		13,635		14,091		13,543				
		生活習慣病対象者 一人当たり	健診受診者	9,882		7,400		6,955		6,186				
			健診未受診者	42,323		37,065		37,897		38,956				
⑦	健診・レセ 突合	受診勧奨者	1,938	57.7	376,419	57.6	50,521	56.1	4,012,946	57.4	KDB_NO.1 地域全体像の把握			
		医療機関受診率	1,743	51.9	344,582	52.7	46,977	52.2	3,719,247	53.2				
		医療機関非受診率	195	5.8	31,837	4.9	3,544	3.9	293,699	4.2				
5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱	特定健診の 状況 県内順位 順位総数25	メタボ	健診受診者	3,361		653,288		90,074		6,986,531	KDB_NO.3 健診・医療・介護 データからみる地域 の健康課題 KDB_NO.1 地域全体像の把握		
				受診率	51.0		41.3		39.1		37.3			
				特定保健指導終了者(実施率)	0	0.0	27,085	34.8	4,068	42.5	176,015		21.7	
				非肥満高血糖	312	9.3	69,156	10.6	7,653	8.5	665,139		9.5	
				該当者	男性	763	22.7	128,740	19.7	18,604	20.7		1,342,645	19.2
					女性	506	33.6	88,285	30.3	12,411	31.4		917,289	30.7
					予備群	257	13.8	40,455	11.2	6,193	12.3		425,356	10.6
					予備群	399	11.9	72,047	11.0	11,054	12.3		772,864	11.1
				メタボ該当・予備群 レベル	男性	286	19.0	49,665	17.0	7,477	18.9		528,325	17.7
					女性	113	6.1	22,382	6.2	3,577	7.1		244,539	6.1
					総数	1,254	37.3	222,540	34.1	32,614	36.2		2,359,663	33.8
					男性	844	56.1	152,420	52.2	21,798	55.1		1,606,303	53.8
				BMI	女性	410	22.1	70,120	19.4	10,816	21.4		753,360	18.8
					総数	220	6.5	36,702	5.6	4,654	5.2		348,486	5.0
					男性	34	2.3	5,805	2.0	711	1.8		51,843	1.7
					女性	186	10.0	30,897	8.5	3,943	7.8		296,643	7.4
				血糖のみ	25	0.7	4,716	0.7	549	0.6	48,031		0.7	
				血圧のみ	291	8.7	50,941	7.8	8,306	9.2	537,583		7.7	
				脂質のみ	83	2.5	16,390	2.5	2,199	2.4	187,250		2.7	
血糖・血圧	139	4.1	21,585	3.3	2,949	3.3	206,380	3.0						
血糖・脂質	31	0.9	7,010	1.1	806	0.9	73,309	1.0						
血圧・脂質	350	10.4	58,239	8.9	9,204	10.2	633,086	9.1						
血糖・血圧・脂質	243	7.2	41,906	6.4	5,645	6.3	429,870	6.2						
6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	生活習慣の 状況	服薬	高血圧	1,483	44.1	242,562	37.1	38,009	42.2	2,482,272	35.5	KDB_NO.1 地域全体像の把握	
				糖尿病	374	11.1	60,827	9.3	8,317	9.2	595,601	8.5		
				脂質異常症	796	23.7	171,214	26.2	24,561	27.3	1,857,681	26.6		
			既往歴	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	124	4.3	21,230	3.3	3,560	4.0	227,572	3.4		
				心臓病(狭心症・心筋梗塞等)	238	8.2	37,908	6.0	6,304	7.2	393,222	5.9		
				腎不全	40	1.4	5,389	0.8	756	0.9	51,814	0.8		
				貧血	509	17.5	61,892	9.8	13,057	14.8	718,919	10.8		
			喫煙	499	14.8	85,536	13.1	11,908	13.2	907,878	13.0			
			週3回以上朝食を抜く	288	10.0	41,764	7.1	8,039	9.1	536,228	8.6			
			週3回以上食後間食	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0			
			週3回以上就寝前夕食	494	17.1	91,241	15.4	12,077	13.7	970,798	15.6			
			食べる速度が速い	863	29.8	163,566	27.7	25,228	28.6	1,680,205	27.2			
			20歳時体重から10kg以上増加	987	34.1	191,317	33.8	30,800	35.0	2,095,530	33.9			
			1回30分以上運動習慣なし	1,936	66.9	373,468	62.8	52,545	59.7	3,662,898	58.8			
1日1時間以上運動なし	733	25.3	280,521	47.2	36,006	40.9	2,936,418	47.1						
睡眠不足	761	26.3	149,954	25.3	20,317	23.1	1,554,107	25.1						
毎日飲酒	835	25.3	158,762	25.3	21,085	23.7	1,632,442	24.8						
時々飲酒	647	19.6	130,312	20.7	18,298	20.6	1,483,847	22.5						
一日飲酒量	1合未満	1,246	61.0	267,920	63.8	40,781	67.2	3,126,606	65.6					
	1~2合	582	28.5	101,849	24.3	14,007	23.1	1,098,958	23.1					
	2~3合	157	7.7	39,194	9.3	4,768	7.9	419,872	8.8					
	3合以上	58	2.8	10,723	2.6	1,140	1.9	119,964	2.5					

資料：KDBシステム

第二期平戸市保健事業実施計画
(データヘルス計画)

・

第三期特定健康診査等実施計画

発行年月 令和3年3月

発行 平戸市

〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町 1508番地3

TEL 0950-22-9125 FAX 0950-22-4241